

平成30年度 マルセン15号

発行日/平成31年3月  
発行所/公益財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団  
所在地/〒700-0023 岡山県岡山市北区駅前町1丁目2番4号  
電話/(086)800-0077 ファックス/(086)800-0055  
URL <http://www.marusen-zaidan.or.jp/>

(本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています)

# CONTENTS

ごあいさつ	2
財団法人の概要	3
役員・評議員名簿	6
平成 30 年度 事業報告	7

## I 公益事業

### 第1章 助成事業関係

1 スポーツ活動に対する助成	7
2 文化活動に対する助成	8

### 第2章 表彰事業関係

1 マルセン栄誉大賞	10
2 マルセン大賞	10
3 マルセン賞	10

贈呈式	12
-----	----

#### 受賞者からのひとこと

1 マルセン栄誉大賞	新田 佳浩	13
2 マルセン文化大賞	金重 有邦	14
	菅井 竜也	15
3 マルセンスポーツ賞	創志学園高等学校女子ソフトボール部	16
	福岡 珠緒	17
	森川 朋哉	18
4 マルセン文化賞	内山 詠美子	19
	高月 國光	20
	竹田喜之助顕彰会	21

ホットコーナー TOKYO 2020	22
岡山フィルハーモニック管弦楽団	24

### 第3章 イベントの開催

1 スポーツ	26
2 文 化	26

### 第4章 広報啓発育成事業

1 啓発育成事業	27
2 協賛・後援事業	28

## II 財団の活動

### 法人管理

1 会議等	29
2 創立 15 周年記念事業	30

## お知らせ

マルセンスポーツ・文化活動助成事業について	31
活動助成事業申請書 記載例	32

## 資 料

事業の記録 助成 表彰 イベント・後援等	33
平成 29 年度 収支計算書	43
貸借対照表	44



## ごあいさつ

当財団は、岡山県のスポーツ及び文化の振興発展と県民の皆さまが健康で豊かな心をもって生活できる環境・社会の実現を願い平成16年2月に財団法人を設立し、平成25年4月1日公益財団法人へ移行いたしました。岡山県を元気にとの願いから活動し続け、設立から15年目を迎えるにあたり、平成30年10月24日財団創立15周年記念事業として「新田佳浩氏・あさのあつこ氏記念講演会」を多くの参加者をお迎えして開催することができました。これも運営にあたりご協力をいただきました皆さまのおかげと厚く御礼申し上げます。

平成30年度もスポーツ・文化活動に対する助成、表彰やスポーツ・文化活動に関するイベント開催、広報啓発活動及び後援・協賛を実施してまいりました。特に今年度の文化関係では創立15周年記念として、昨年に引き続きbeyond2020認証を受け、日本美術院のご支援のもと井手康人(同人)先生による一般県民を対象とする「第5回日本画教室」、山陽新聞社様との共催事業として再興第103回院展特別講座「親子日本画教室&マルセン日本画教室(中高生対象)」を実施いたしました。スポーツ関係ではTリーグ立ち上げの年に岡山リベッツ様のご協力のもと「卓球教室」を開催いたしました。当初の募集定員の5倍を超える応募をいただき、急遽定員を増やし実施いたしました。参加者はプロ選手の指導のもと熱心に練習し、盛況のうちに実施することができました。ご縁に恵まれて充実した活動を行うことができましたこと、お力添えをいただきました皆さまに感謝いたしますとともに、今後も県民の皆さまのお役にたてますよう活動してまいりたいと考えております。

この度、今年度の活動記録といたしまして、「マルセン」第15号発刊の運びとなりました。どうぞご覧いただければ幸いに存じます。発刊にあたりご協力を賜りました関係各位に心より感謝申し上げます。

今後とも地域の皆さまのスポーツ・文化活動に貢献できますよう、より一層の努力を重ねてまいりますので、引き続きご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成31年3月

公益財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団  
理事長 千原 多美子

# 財団法人の概要

## I 概要

マルセンスポーツ・文化振興財団は、平成16年2月20日付けで岡山県教育委員会の許可を得て財団法人として設立されました。その後、国における公益法人制度の抜本改革として制定された公益法人制度改革に係る3法が平成18年6月2日に公布。平成20年12月1日施行。平成25年4月1日、公益財団法人として新たに歩み始めました。

当財団は、定款第3条に「岡山県のスポーツ・文化の振興発展を支援するとともに県民が健康で豊かな心を持って生活できる環境・社会の実現に寄与することを目的とする。」と規定し、その目的達成のため、次の5項目

- 1 スポーツ・文化活動に対する助成
- 2 スポーツ・文化活動に対する表彰
- 3 スポーツ・文化に関するイベントの開催
- 4 スポーツ・文化に関する広報啓発育成事業
- 5 その他目的を達成するために必要な事業 を定め活動しております。

## II 沿革 (概要)

平成16年2月20日	財団設立
平成16年2月27日	事務所を岡山市富町二丁目4番4号に設置
平成16年3月26日	初代理事長に千原多美子就任
平成16年12月14日	第1回マルセンスポーツ・文化表彰式及びスポーツ・文化活動助成金交付式の開催
平成16年12月23日	第1回スポーツイベント協賛(第23回山陽女子ロードレース大会)
平成17年2月28日	晴れの国おかやま国体へ助成
平成17年3月10日	広報誌「マルセン創刊号」発刊(表紙 高橋秀氏「InAria『宙』」)
平成17年3月11日	第1回広報啓発育成事業(チケットプレゼント)実施(岡山フィルハーモニック管弦楽団第26回定期演奏会)
～ 以下 抜粋 ～	
平成18年1月13日	財団のロゴマークの選考・決定
平成18年4月1日	公益法人指導監督担当課の変更により岡山県教育委員会から岡山県知事所管となる
平成18年8月4日	コミュニティライブラリーの設置(岡山市駅前・岡山会館1階) 「晴れの国おかやま国体写真展 ああ感動をもう一度!」 表彰者紹介コーナー・映像コーナーの設置
平成18年11月3日	第1回文化イベント開催(川島 基ピアノリサイタル)
平成19年11月2日	第19回全国生涯学習フェスティバル「まなびピア2007岡山」「生涯学習見本市」に出展
平成20年3月8日	第1回スポーツイベント開催(少年サッカー教室(岡山湯郷ベル))
平成20年12月1日	新公益法人制度施行により「特例民法法人」となる
平成21年7月17日	事務所を岡山市北区駅前町一丁目2番4号へ移転
平成22年8月12日	新田佳浩氏(スポーツ大賞)表敬訪問
平成23年7月8日	新公益法人制度移行に伴う「最初の評議員の選任方法」の認可
平成23年7月26日	RSKラジオ「おかやま元気応援団」放送開始(活動助成団体による活動状況)

平成 24 年 9 月 21 日	公益法人認定に向けて「移行認定申請書」提出（岡山県知事）
平成 25 年 3 月 8 日	岡山県公益認定等委員会から移行認定答申
平成 25 年 3 月 18 日	認定通知書（交付）
平成 25 年 4 月 1 日	公益財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団と改称
平成 25 年 6 月 26 日	定時理事会及び定時評議員会において「収益事業の廃止及び定款の一部変更（案）」及び「定款変更申請」承認
平成 25 年 7 月 20 日	第 1 回岡山県文化のつどい開催「美作国建国 1300 年」（共催） ～津山洋学・知は海より来る～ 講師 臼井洋輔氏・下山純正氏 同 2 回目 9 月 19 日「日本から始まった柔道文化」講師 古賀稔彦氏
平成 25 年 8 月 13 日	創立 10 周年記念展「表彰者色紙展及び自然と遊ぶ写真展」の開催（～ 18 日） （写真提供 監事 信朝 寛氏）
平成 25 年 9 月 12 日	岡山県老人福祉施設協議会へ「写真の贈呈」
平成 25 年 12 月 6 日	定款変更認定（収益事業廃止）
平成 26 年 6 月 4 日	ホームページをリニューアル
平成 26 年 9 月 15 日	財団新 CM 放映開始。
平成 27 年 8 月 10 日～ 11 日	高体連ソフトテニス専門部強化事業に講師派遣（職員：杉本瞳）
平成 28 年 6 月 3 日	マルセン文化教室「第 1 回井手康人の日本画教室」（社会人対象）開催 第 1 回井手康人の日本画教室参加者作品発表会開催（春の院展会場にて）
平成 28 年 9 月 29 日	第 71 回国民体育大会に千原多美子理事長・杉本瞳職員（ソフトテニス成年女子選手）を派遣（～ 10 月 4 日）
平成 29 年 7 月 10 日	おかやま COOLCHOICE! 宣言団体に承認
平成 29 年 10 月 28 日	マルセン文化教室「臼井洋輔氏と共に閑谷学校と津田永忠の事跡を巡る研修会」開催
平成 29 年 12 月 14 日	beyond2020 認証を受ける（第 4 回井手康人の日本画教室） マルセン文化教室「平成 29 年度第 2 回（第 4 回）井手康人の日本画教室」開催（中高生対象）

## ～平成 30 年度～

平成 30 年 4 月 26 日	臨時第 1 回理事会開催（臨時第 1 回評議員会開催、選考委員選任の件）
平成 30 年 5 月 23 日	平成 29 年度監査実施
平成 30 年 5 月 30 日	第 1 回選考委員会開催（第 15 回表彰、協賛、名義後援関係）
平成 30 年 6 月 7 日	チケットプレゼント 第 73 回春の院展倉敷展 （倉敷市立美術館 6 月 27 日～ 7 月 8 日）
平成 30 年 6 月 13 日	定時第 1 回理事会及び臨時第 1 回評議員会開催
平成 30 年 6 月 14 日	チケットプレゼント ポーラ美術館コレクション （岡山県立美術館 7 月 6 日～ 8 月 26 日）
平成 30 年 6 月 23 日	マルセン文化教室「第 5 回井手康人の日本画教室」実施（北ふれあいセンター）
平成 30 年 6 月 28 日	定時第 1 回評議員会（書面）開催（平成 29 年度事業報告及び収支決算の件）
平成 30 年 8 月 6 日	チケットプレゼント 2018LPGAステップ・アップ・ツアー山陽新聞レディースカップ （東児が丘マリンヒルズゴルフクラブ 9 月 14 日～ 16 日）
平成 30 年 10 月 18 日	チケットプレゼント 松本和将の世界音楽遺産ドイツ・ロマン編～クララをめぐる～ （ルネスホール 11 月 4 日）
平成 30 年 10 月 23 日	第 15 回マルセン賞表彰式及び活動助成金贈呈式挙行
平成 30 年 10 月 24 日	財団創立 15 周年新田佳浩氏・あさのあつこ氏記念講演会実施（さん太ホール）
平成 30 年 11 月 9 日	第 2 回選考委員会（書面）開催（岡山県体育協会名義後援）
平成 30 年 11 月 15 日	平成 31 年度活動助成金応募受付開始（平成 31 年 1 月 21 日まで） チケットプレゼント ベートーベン「第九」演奏会 （岡山シンフォニーホール 12 月 9 日）

平成 30 年 12 月 6 日	第 3 回選考委員会（書面）開催（岡山県文化連盟後援）
平成 30 年 12 月 13 日	チケットプレゼント 再興第 103 回日本美術院展覧会岡山会場 （天満屋岡山店葦川会館 1 月 2 日～ 14 日）
平成 30 年 12 月 19 日	臨時第 2 回理事会開催（県体協名義後援、県文連協賛の件）
平成 30 年 12 月 22 日	再興第 103 回院展特別講座「親子日本画教室」& マルセンスポーツ・文化振興財団創立 15 周年記念事業「マルセン日本画教室（中高生対象）」実施（山陽新聞社）
平成 31 年 1 月 9 日	チケットプレゼント Vリーグ観戦（岡山シーガルズホームゲーム ジップアリーナ岡山） KUROBE アクアフェアリーズ 戦（1 月 26 日） トヨタ車体クインシーズ 戦（1 月 27 日）
平成 31 年 1 月 17 日	チケットプレゼント Tリーグ観戦（岡山リベッツホームゲーム 岡山武道館） KM 東京 戦（2 月 16 日） TT 彩たま 戦（2 月 17 日）
平成 31 年 1 月 17 日	チケットプレゼント 秀桜基金留学賞 10 年、そして「今」展 （岡山県立美術館 1 月 18 日～ 2 月 24 日）
平成 31 年 1 月 27 日	マルセンスポーツ教室「岡山リベッツ卓球教室」実施（岡山リベッツ卓球スポット岡山店）
平成 31 年 2 月 12 日	臨時第 3 回理事会開催（臨時第 2 回評議員会実施の件等）
平成 31 年 2 月 14 日	チケットプレゼント 倉敷音楽祭 人形浄瑠璃「文楽」 （倉敷市芸文館 3 月 8 日）
平成 31 年 2 月 18 日	第 4 回選考委員会開催（平成 31 年度活動助成金選考等）
平成 31 年 2 月 21 日	チケットプレゼント 倉敷音楽祭 倉敷のヴィルトゥオーゾ Vol4 （倉敷市芸文館 3 月 17 日）
平成 31 年 3 月 8 日	定時第 2 回理事会及び臨時第 2 回評議員会開催 （次年度事業計画、収支予算承認の件 等）
平成 31 年 3 月 吉日	広報誌「マルセン」15 号発刊

# 役員・評議員名簿

平成31年3月31日現在

## 役員

定数8名

役職名	氏名	会社名
理事長	千原 多美子	(株)成通 取締役
常務理事	千原 秀則	(株)センインターナショナル 代表取締役社長
理事	加計 孝太郎	(学)加計学園 理事長
〃	川崎 誠治	(学)川崎学園 理事長
〃	越宗 孝昌	(株)山陽新聞社 取締役会長
〃	吉岡 洋介	(公財)ワコースポーツ・文化振興財団 理事長
監事	衣笠 和孜	岡山療護センター センター長
〃	小林 彬二	元岡山県美作県民局長

五十音順 敬称略

## 評議員

定数10名

役職名	氏名	会社名
評議員	石井 正人	岡山ネットワーク(株) 代表取締役社長
〃	北尾 好昭	(株)瀬戸内海放送 常勤顧問
〃	桑田 茂	山陽放送(株) 代表取締役社長
〃	塩飽 哲文	岡山エフエム放送(株) 代表取締役社長
〃	千原 行喜	(株)成通 代表取締役社長
〃	土井 雅人	テレビせとうち(株) 代表取締役社長
〃	中川 弘之	西日本放送(株) 岡山本社 中国総支社 支社長
〃	中静 敬一郎	岡山放送(株) 代表取締役社長
〃	平松 掟	平松弁護士事務所 (元日本弁護士連合会副会長)
〃	藤田 土義	(株)成通 相談役

五十音順 敬称略

## 顧問

定数3名

役職名	氏名	所属
顧問	伊東 香織	倉敷市長
〃	大森 雅夫	岡山市長
〃	田中 建治	前財団事務局長

五十音順 敬称略

# 平成30年度 事業報告

## (I)公益事業

### 第1章 助成事業関係

岡山県内において、スポーツ・文化の振興及び発展に寄与するため下記の諸事業に助成を行いました。

#### 1 スポーツ活動に対する助成 (応募数 / 18件 採用件数 / 10件)

番号	団体名	活動名	活動目的(内容)
1	一般財団法人岡山市体育協会	第60回西大寺駅伝競走大会	本大会は、「2019さいだいじ冬フェスティバル」の一環として西大寺会場の1週間前の2月10日に開催いたしました。一年で最も寒さが厳しとされるこの時期に開催している今大会も今年で60回を迎え、冬の西大寺を盛り上げるスポーツイベントとして定着しています。本大会は、4つの部門があり、女子の部は21チーム、中学男子の部が17チーム、高校男子の部が15チーム、一般男子の部が43チームのエントリーがあり計96チーム、約700名の参加者が集まりました。 助成を受けての活動として、選手輸送のバス6台借り上げし、まずは西大寺駅から神崎山公園競技場へ選手を送り、開会式後は5区間の中継所にそれぞれ選手を送り届けています。また、走り終わった選手を中継所から開・閉会式が行われている神崎山公園競技場へ送り届けてその後は選手を西大寺駅へ送迎しています。大会当日は選手輸送のスケジュールに沿って各中継所を回っているが、予定時間どおりにならないものなのでバスの運転手と選手輸送係との間でうまく連携をとり、選手を特に待たすこともなくスムーズに大会を運営することができました。
2	岡山県障害者フライングディスク協会	第18回 岡山県障害者フライングディスク交流大会	本大会は本県及び近隣のプレイヤーの交流、また選手の自身の競技力の向上を目的として、県大会と同一会場で開催しました。選手は、午前中にアキュラシー競技(フラフープ同程度の丸い輪にフライングディスク(一般的には「フリスビー」)を10枚投げ、輪を通過した枚数を競う)、午後からディスタンス競技(ディスクの飛距離を競う)を開催しました。両競技とも、1組8人で競技し、それぞれの組毎の上位3名にメダルを授与しました。また、参加者全員に各自の記録を記入した大会記録証(A5判)を授与するとともに、大会参加記念品を贈呈しました。今大会も開催日がクリスマスに近いので、昨年度と同様審判以外のスタッフがサンタ帽を着るとともに、メダルプレゼンターがサンタコスチュームでメダルと記録証を贈呈するクリスマス対応を行いました。
3	岡山県セーリング連盟	岡山県セーリング連盟ジュニア(小学生)部門設立	2017年7月岡山県スポーツ振興課のサポートで県内小学生を対象とした体験試乗会を実施しました。年間を通じた活動を行うクラブ員を募集しその結果4名(3年生2名、5年生2名)が活動を開始しました。年間を通じて行う、小中学生対象セーリング競技のスクールで現在は9名(3年生～6年生とその保護者)で活動中。(中学部門は2019年開始予定) 今回の助成を受け、不足している艇の購入を行い、今年度は公式戦でAクラス(艇の計測が必要となり今まで出場できなかったクラス)にも出場ができるようになった。岡山県のセーリング競技の普及振興と競技力の底上げを図り、2019年中学生部門の設立およびその後の高校や大学部門への接続によりワールドで活躍出来る選手育成の基礎をつくりたいと思います。
4	岡山県ドッジボール協会	第13回岡山県小学生ドッジボール選手権大会 兼 第5回中国ブロック会長杯小学生ドッジボール選手権大会	岡山市、倉敷市、赤磐市を中心とする(小学生3～6年生の男女12～20人で構成されたチーム)17チーム(291人)が参加し、開催されました。予選リーグでは、1ブロックを4～5チームとした、A～Dの4ブロックに分かれて総当たり戦にて実施。ブロック毎の順位によりトーナメント戦の組み合わせを決定し、12チームによる決勝トーナメント戦を行いました。成績上位5チームには、優勝カップ、副賞等授与した。また成績上位5チームは、11月19日開催の「中国ブロック会長杯小学生ドッジボール選手権大会」の出場資格を与えました。 大会を開催し参加することで、チームのレベルが上がり、次に何を練習するか課題が見つかった。2月開催の全国大会県予選会を目指して練習に頑張る。また本大会を通して他チームとの交流を深め、学区や地域を越えた交流が出来た事も成果でした。
5	一般社団法人岡山県ユニバーサルスポーツ文化協会岡山デビルバスターズ	ブラインドサッカーを通じて視覚障がいについて理解を深める体験会	前半にブラインドサッカーの概要紹介、視覚障がいについての講義を実施しました。「見えづらさ」を体験キットを使用して体感、アイマスクを着用して白杖を持つ友人を介助歩行する体験を含め、視覚障がいについての理解を深めることができました。後半にブラインドサッカー体験を実施しました。アイマスクを着用して指示を聞くこと、音の鳴るボールを手でキャッチ・足でトラップ、ドリブル、ガイドの誘導を聞いてシュートを体験・練習し、ミニゲームを実施し、最後に講義・体験の振り返りを行い、視覚障がい者への配慮について話し合いました。 視覚障がいについて学び、人を思いやる気持ちを醸成する機会を提供できている。また日頃のサッカーの活動に通じる声掛けの重要性を再認識していただくことができました。
6	可知剣道少年団	剣道防具の購入	1977年より活動を始めた可知剣道少年団ですが、少子化に伴う団員数の減少により一時活動を休止しました。しかし、2008年に地域の子供たちに剣道を通じて礼儀作法や地域とのつながりを大切にしてほしいという気持ちから活動を再開しました。近年、少子化により剣道をやる子供たちの人数も減少しています。以前は上級生の使用していた防具を低学年の子供たちが継続して使用していましたが、子供たちの減少に伴って使っている防具の老朽化が進んでいました。けがなく楽しく剣道するために、今回の助成金を利用して2年生団員5名の面と、破損などが多くみられた竹刀を11本購入させていただきました。みんな気持ちよく稽古ができています。竹刀にストックができたので新入団員勧誘の際に使用させていただきます。少子化に伴う団員数の減少を防ぐために地域の皆様に活動を幅広く知っていただき団員・指導者・保護者が一丸となって盛り上げていきたいと思います。
7	倉敷市児島マリプール指定管理者 岡山県水泳連盟	スターティングブロック・バックストロークレジスタート練習会	今回はマルセンスポーツ財団の助成を受けられることとなり、参加者に対して金銭的な負担を特別求めることなく、希望者全員に練習環境を提供できたことをうれしく思います。 広報活動は県内のスイミングクラブや競技会・記録会に参加する小学校を中心に行い、HPはもちろんSNSでの配信も行い、県内の競技者全てに情報が届くように心がけました。準備も順調にいき、練習会には50団体以上から150名を超える参加をしていただきました。練習会の目標にある普及といった面においては大成功だったと思います。また、主催者として一番配慮の必要な事故やケガにたいしては、警備係りや運営スタッフの増員が可能となり万全の体制が取れたことも練習会が成功に終わった大きな要因でした。
8	公益社団法人岡山県柔道整復師会	岡山柔整杯	「岡山柔整杯」は、全国大会に通じる県内3大会の一つで毎年多くの児童参加があります。少年柔道形競技会は、県内でこの大会のみ開催しており、代表選手は全国大会でも好成績を残しています。大会を通じて、少年少女の健全な心身を育成し、これからの日本を背負う人材に育ててくれることが当会の願いであります。 年々、大会規模も大きくなってきており、県民医療・保健・福祉に携わっている柔道整復師を周知していただくと共に少年柔道の底辺拡大、また技術並びに健全な心身の成長に大変成果があったのではないかと思います。今後も少年柔道を通して、県民医療、青少年の健全育成に貢献できるよう努力して参ります。

9	製作者集団 猪八戒	第20回 上齋原神社奉納おんな相撲	上齋原神社境内での奉納おんな相撲は、平成30年(2018)春で、第20回の興行を迎えました。私たちの活動は、過疎高齢化で、人影もまばらになりつつある郷土の村の、伝統文化の復興による地域活性化を目標とした活動で、様々な活動をしてきたが、今回助成を受けた奉納おんな相撲は、最近の活動の主力であります。上齋原神社は、上齋原地区の氏神であるが、ここでは古くから奉納相撲(宮相撲)が行われていました。これは青年の宮相撲であったが、昭和30年代を最後に絶えました。私たちはこの復興を目指して最初に子供相撲を平成9年(1997)から開始し、青年相撲はついに復興せず、平成11年(1999)からおんな相撲を興行しています。平成30年(2018)第20回記念大会を迎えたおんな相撲は、この機にこれまでの優勝者(横綱)のうち、複数回優勝者などのタペストリーを製作したり、20回記念大会のリーフレットの作成をするなどしました。毎年1回のおんな相撲の興行であるが、かなりの費用がかかるため、県内の企業・商店様からの助成・寄付に支えられ実施できています。
10	早島バドミントンスポーツ少年団	早島バドミントンスポーツ少年団の活動における備品購入	早島バドミントンスポーツ少年団は、入りたい・入ってよかった「早島バドミントンスポーツ少年団」子どもたちにバドミントン競技の「楽しさ・おもしろさ・良さ」を知ってもらい、バドミントン競技を通じて“からだ”と“こころ”の成長を育むことを目的として活動しています。 今回の助成を受け、基本練習の際に使用するバドミントントレーニングマシン(ノックマシン)の備品購入を行いました。指導者の人数が少なかったため、パターン練習の頻度に制限がかかっていたが、ノックマシンの導入により、いろいろなパターン練習の頻度と精度が確保され、無駄な時間が無くなることで効率の良い練習が確保できました。

(各団体活動報告から)

## 2文化活動に対する助成(応募数/31件 採用件数/11件)

番号	団体名	活動名	活動目的(内容)
1	出雲街道 勝山宿の会	旧出雲街道(旧勝山町地内)へ一里塚跡の標柱復元	真庭市内の古道(出雲街道及び大山みちの2道について)を後世に伝えるための活動を行っています。旧勝山町地内へは、一里塚が2カ所有ったはずですが、今までは消失して不明でした。また、街道の道筋は度々変わっており、場所の特定が出来ていませんでしたが「米子市立歴史博物館」所蔵の「上方街道絵図」を知り、それ以前に鏡野町歴史家 高宮惇氏の調査で一里塚の位置が特定出来たので、今回の助成を受け、勝山・宮下の地へ「一里塚跡」の標柱を設置しました。
2	おかやま演劇サロン	夏の幻想庭園における狂言・現代劇・ミュージカルの共演舞台の制作	再建60周年を迎えた後楽園能舞台において、後楽園夏の幻想庭園の一企画として、狂言・現代劇・ミュージカル融合劇「空を飛んだ男と雲の上のお殿様」を上演しました(観客動員数は約170名)。本申請活動の実施は岡山県の魅力を県内外に発信し、地域住民には岡山の魅力を再認識させ、狂言、現代劇、ミュージカルという異なる表現法をミックスさせ、新たな演劇表現法を生み出すことを目的として行いました。結果、日本古来の伝統芸能である狂言の新しい表現法を提案できました。また、演劇・ミュージカル分野においても能舞台という新しい表現の場が提供され、観客には岡山の魅力を再認識させることができ、岡山県の魅力を県内外に発信することが出来ました。
3	岡山県高等学校文化連盟 将棋部会	第27回全国高等学校文化連盟将棋新人大会	この度は、平成31年2月1～2日に玉野市で開催された第27回全国高等学校文化連盟将棋新人大会を本部会が主催するにあたり、その運営費に助成をいただきました。この大会は、毎年夏に開催される全国高等学校将棋選手権大会と並び、全国の将棋を愛する高校生を目標に開催される大会です。各都道府県を回り持ちで開催し、岡山県では初開催でした。大会には全国の予選を勝ち抜いた男子95名・女子130名が参加し、予選リーグ・決勝トーナメントで熱戦を繰り広げました。また、日本将棋連盟からプロ棋士を3名(有森浩三七段・菅井竜也七段・今泉健司四段)招聘し、指導対局や解説をおこなっていただいた参加者の棋力向上や交流を行いました。貴財団からの助成金は、プロ棋士の派遣費の一部に充てました。
4	オペラプラザ岡山	オペラプラザ岡山 創立10周年記念公演	平成21年4月1日に設立し、以降活動を続け、フルオーケストラ・日本語によるオペラを毎年3月に岡山市市民会館等で上演しています。本年度は、ユニヴァーサルデザインオペラ：歌劇「天空の町」～別子銅山と伊庭貞剛～【ハイライト版】を上演。100年以上も前に、別子銅山の公害問題に真正面から取り組み、解決に導いた一人の実業家の人生を描きながら、大自然の中ですべての命が輝くことを雄大に歌い上げました。盲導犬とともに舞台上に立った全盲の方のほか、障害のある出演者やスタッフが複数名、音楽経験の全くない初心者もいました。今回初めて岡山岳風会の方々の共演により、劇中で詩を吟じていただきました。4月からの継続した練習により、未就学児を含む子どもたちもこの機会に本番の演技を楽しんでいます。団体とその活動の知名度・信頼度が向上しました。岡山で本作品をオーケストラ演奏・字幕付きで初上演できたことは、出演者にとっても貴重な体験でした。来場者からは、作品のテーマへの共感やメンバーの真剣な取り組みの様子に対する評価が多数寄せられました。地方でのオペラの普及に一定の役割を果たすことができたと考えます。また、助成により会員の自己負担額を軽減することができました。
5	きらぼし★アート展実行委員会	第2回きらぼし★アート展	岡山県内の障害者たちの芸術作品を紹介する全県公募展「第2回きらぼし★アート展」は「輝く星を探して―岡山の作家たち」をテーマに、2018年9月29日から10月5日まで旧山下小学校(岡山市北区丸の内)で開催。岡山県の行政、福祉、文化団体など官民あけた「オール岡山体制」により障害者の芸術文化活動を展開しようと、岡山県、県教委、県文化連盟、岡山市、県知的障害者福祉協会、旭川荘、山陽新聞社会事業団などをメンバーとする実行委員会が実施主体となりました。県内の個人や障害者施設、支援学校などから294点の応募があり、1次審査の結果選ばれた66点(絵画44、造形22)が展示されました。作品と同時に募集した来場者プレゼントの「缶バッジ」デザインには184点の応募があり、大小の2サイズ、計5点が選ばれた。岡山城や県立美術館などが集まる歴史文化ゾーンの一部にある旧小学校舎という会場の立地と雰囲気の良い音が奏功し、福祉関係者以外の美術ファンからも来場。来場者がふせんに感想を書き、掲示板に貼り付ける「星のつぶやきコーナー」は、最終日には掲示板をはみだし会場案内図まで埋め尽くしました。 会期中、障害のあるアート作家が会場に設置した布や壁に直接絵を描く「ライブペイント」を開催。新潟、広島、鳥取で障害のあるアート作家の発掘や活動支援に先進的に取り組む団体、施設のリーダーを招いたセミナーも開かれ、障害者アート支援に意欲を燃やす県内の福祉施設職員や特別支援学校教諭らが聴講しました。 入賞作品を備前焼の重要無形文化財保持者(人間国宝)伊勢崎淳氏ら県内外の専門家5人が審査。最優秀賞となる「きらぼし大賞」に岡山東支援学校高等部2年岡本大貴さんの作品「馬」を選んだほか、造形賞2名、絵画賞1名、新人賞1名が選ばれた。缶バッジデザイン採用者には「缶バッジ賞」が贈られ、岡山市北区柳町の山陽新聞社で10月20日開かれた表彰式で表彰状と記念品が手渡されました。表彰式終了後、2018年末には展示作品すべてを収録した図録(A4、70ページ)を制作。今後県内外の障害者アート関係者に岡山の作家を紹介するツールとして活用していきます。また、きらぼし★アート展イベントとして8月12日、フランス国立現代芸術センターのパトリック・ギゲール館長、大森雅夫岡山市長、現代アート展「岡山芸術交流」の総合プロデューサー石川康晴・ストライプインターナショナル社長が意見交換するシンポジウム「美術館を核にした文化の町づくり」を開催しました。

(各団体活動報告から)

番号	団体名	活動名	活動目的(内容)
6	子どものための吟と舞教室	吟詠剣詩舞の学校公演(鑑賞と体験を通して)	子どもたちは伝統文化である吟詠剣詩舞、とりわけその生の舞台に触れる機会が少ないため、私たちは学校・子ども会・児童クラブなどに広く呼びかけています。伝統文化の普及に貢献したい思いで、これまで年間およそ10公演に取り組んできたが、30年度は12公演となりました。この内、学校関係は5公演で、要請が多かった高齢者施設でも7公演を行いました。学校公演では、当初活動があまり知られていない時は、15分程度の朝礼時間に合わせた公演が多かったが、デモDVD等で普及・説明する中で、ほとんどの学校が1校時以上を使っての公演要請に変わってきました。鑑賞だけでなく体験させてみたい、という興味を持たれた結果だと思えます。公演実施するために、広報資料作り(DVD製作、リーフレット活用)と学校を訪問しての説明を11回行いました。高齢者施設からの公演要請は想定外ではあったが大変喜ばれました。要請があれば今後も続けていきたいと思えます。
7	ドラムパフォーマンス 己	和太鼓を通じて、若い打ち手の育成や伝統文化の維持	平成28年11月23日、和太鼓グループ ドラムパフォーマンス己を立ち上げました。小学2年生～6年生の8名を指導しており、和太鼓を通じて、若い打ち手の育成や伝統文化の維持、地域活性化を図っています。多くの依頼を受け、各種イベントや慰問公演等に出演させていただいています。そうした依頼を頂き、子供たちも日々練習に励んでいます。現在借用の太鼓が5台ありますが今回の助成を受け、新しい太鼓を購入しました。それにより、打ち手の増員や、曲も増やすことが出来ました。今後の大きな課題として、大太鼓やその他楽器を増やし、音の表現力を高め、さらに楽曲を作成したいです。そして、多くの太鼓奏者の育成に努めていきたいと考えています。
8	備前焼中世古窯復元「土窯」プロジェクト委員会	備前焼 土窯プロジェクト ワークショップ2018	土窯プロジェクトの活動によってこれまでに得られた情報を多くの方々に伝え、また継承者の発掘につなげ、備前焼の歴史の深さをあらためて再確認する機会をつくるために数度にわたりワークショップを開催しました。具体的には中世古窯復元「土窯」プロジェクトの活動と備前焼の歴史についての講演会を2回(11/6、12/21)、陶芸体験(2/9)、700年前のレンガを使わず土と石のみで築いた土窯復元「土窯」を使っての公開ワークショップ(窯詰め:12/11～12/3、窯焼成:12/14～12/17、窯出し:12/21～12/23、1/20)、土窯&古窯跡見学会を5回(11/17、12/27、1/20、2/5、2/24)を実施しました。一度に大人数ではなく、開催日を増やして少人数を対象にワークショップすることで、スケジュール調整がしやすくなり、なおかつ関心のある方々にとって濃密で有意義なワークショップを開催することができました。さらに、講習会などで歴史を学んだ後に古窯跡を訪れるなど、知識的学習と体験的学習を合わせ、運動させるワークショップをすることで、より関心も高まり理解を深めるようになり、一過性で終わらず、次につなげる学習の場をつくるように意識しました。
9	美作の歴史を知る会	地域開発に貢献した美作大庄屋の足跡を調べ身近な地域学を促す	平成17年から津山市老人福祉センターの歴史講座の中で「美作の大庄屋」の調査を開始しました。講座生は約20名と「美作の歴史を知る会」の会員が講師となって美作地域の86家の現地を訪ねて記録しまとめてきました。毎月第2水曜日、センターのバスを利用しました。平成18年度は講座生が分担した大庄屋家のもと、印刷のためのレイアウト作成、写真の決定、文章の推敲、不十分な各家は全員で再調査を実施しました。さらに、各家の記事事項について最終稿のための検討会を重ねました。今まで大庄屋職についての研究が進んでいなかったが、今回の調査研究によって、さまざまな新発見、新知見を得ることができました。
10	昔ばなしの里こつぶり	昔ばなしの里こつぶり 民話の語り	○こつぶり民話の集い 本会が主催事業として、平成30年10月27日、道の駅鯉が窪文化伝習館において、民話の発表会を実施しました。当日は、会員12名がそれぞれの演目で、民話の語りを発表しました。参加された聴衆の皆様は感想をいただき、本会の励みにもなりました。助成していただいた機材が有効に活用され、民具も活用した舞台演出とピンマイクを使った音響も好評で、演者は自信をもって演じることができました。民話がもつ温かみと懐かしい思い出を聴衆と共有することができ、民話の語りに対する会員の意識も向上しました。また、講師としてお招きした立石憲利先生に講評をいただくことで、語りの研鑽を行うこともできました。 ○要請を受けて行った民話の語り活動 定例の子育て広場の昔話の語りのほか、近隣各種団体からの要請や各種イベントへの参加、他団体との交流など、さまざまな機会と場所で民話の公演活動を行いました。 ・子育て広場こども読書週間 ・キャンドルナイト ・小学校 ・各種ふれあいサロン・老人クラブ主催のミニデイ ・養護老人ホーム ・子育て広場昔話お話し会 ・各地の敬老会・おかやま民俗芸能フェスティバル ・新見フォーラム ・あかりとぬくもりの道具展 ・哲西町文化祭 ・児童クラブクリスマス会 ・各種ふれあいカフェ ○このほかの主な活動として、岡山語りのネットワーク南部交流会を主催しました。
11	YOGART ギャラリー	キッズアートカフェ運営とキッズアート展	2017年の夏に開催した「キッズアート展 “Art in You”」は、現代美術家の宮島達男さんの「アートインユー」、つまり誰もがアートの感性を持っていてアートはそれを呼び覚ます「鏡」のようなもの、という考えに感銘を受け実現した企画ですが、今回さらにこの活動を発展させたいと考えました。2018年度はキッズアートワークショップを4回開催し、大人のアーティストの方たちを招待して交流の場を持ちました。学校の図工の時間から離れて、子供たちの自己肯定感を育むことを目的に、子供たちが自由に自分がしたいことを十分にできるスペースを提供できることが出来ました。この思いに寄り添ってくださるアーティストの方々が心よ力を貸して下さり、参加人数にばらつきがあるものの、各ワークショップで子供たちのワクワクする様子、目の輝き、長時間のものづくりに没頭する様子を親御さんとともに目の当たりにすることが出来、目的は十分果たせたかと思えます。 2018年 6/30開催 「大胆な模様のハンカチを染めよう～天然染料で染める板締め絞り体験」by Yuka Uji 2018年 8/25開催 「Fastasy Fabric」by Hannah Le Feuvre from London, England 2018年 11/11開催 「はじめましてモネ」by 岡野真由子 (にしあわくらモンテッソーリこどもの家代表) 2019年 2/3開催 「構造と空間の学びー木に触れて創造する」by Lifa (工房Kodama代表 木工・鍛冶作家)

(各団体活動報告から)

## 第2章 表彰事業関係

### ① マルセン栄誉大賞

平成29年度スポーツ・文化活動において、大賞受賞者が特に優秀な成績・業績を収め、更なる功績をあげスポーツ振興に貢献した個人を表彰しました。

#### 【マルセン栄誉大賞】

- **新田 佳浩** 【スキー(クロスカントリー)】
  - 6大会連続となるパラリンピックに出場。2010年バンクーバー大会の金メダル2個に続き、平昌大会で通算3個目となる金メダルを獲得。好成績を残し、若手に夢を与えとともに県民に明るい希望と感動と喜びを与えた。
  - 平成22年(第7回)マルセンスポーツ大賞受賞

### ② マルセン大賞

平成29年度におけるスポーツ・文化活動において、著しい成績や文化の振興に著しく貢献した個人又は団体を表彰しました。

※マルセンスポーツ大賞の該当者なし

#### 【マルセン文化大賞】

- **金重 有邦** 【美術(陶工芸 備前焼)】
  - その年にもっとも優秀な作品を作った新進作家を対象とする「日本陶磁協会賞」を平成14年受賞以来、昭和48年新設された陶芸界すべての会員を対象とする「日本陶磁協会賞金賞」を伝統的な作風にその時々自らの思いを投入した作品が認められ平成29年受賞し、県民に感動と喜びを与えた。
- **菅井 竜也** 【伝統文化(将棋)】
  - 平成29年7～8月に行われた第58期王位戦で、羽生善治前王位を破って、初タイトルを獲得した。岡山県出身棋士では34年ぶりのタイトル獲得し、県民に感動と喜びを与えた。

### ③ マルセン賞

平成29年度におけるスポーツ・文化活動において、優秀な成績や文化の振興に功績した個人又は団体を表彰しました。

#### 【マルセンスポーツ賞】

- **創志学園高等学校女子ソフトボール部** 【球技(ソフトボール)】
  - 平成29年岡山勢女子では初となる春夏連覇し、男子を含めても平成19年(新見高校)以来の快挙を成し遂げた。昨年の春選抜、インターハイ、そして今回の選抜と3季連続優勝を果たしたことは在校生・同窓生のみならず県民に感動と喜びをもたらすとともに将来への期待を与えた。
- **福岡 珠緒** 【アニマル(馬術)】
  - 第72回国民体育大会愛媛国体の馬術競技少年馬場馬術、自由演技馬場馬術の2種目で優勝。両種目で3年連続優勝は成年も含め国体初の成績を達成したことは、在校生・同窓生のみならず県民に感動と喜びをもたらすとともに将来への期待を与えた。
- **森川 朋哉** 【パワー(重量挙げ)】
  - 第32回全国高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会男子53kg級、平成29年度全国高等学校総合体育大会ウエイトリフティング競技男子53kg級及び第72回国民体育大会ウエイトリフティング競技クリーン&ジャーク53kgにおいて優秀な成績を収め在校生・同窓生のみならず、県民に感動と喜びをもたらすとともに将来への期待を与えた。

#### 【マルセン文化賞】

- **内山 詠美子** 【音楽(打楽器 マリンバ)】
  - 10代より優れた技術を有し、平成18年桐朋学園大学を首席卒業後、オーストリアへ渡り2007年第3回国際マリンバコンクール(ベルギー)にて1位になる。また、2009年自作曲が課題曲に選曲され特別審査員となるなど活躍は著しい。外国生活を通じて想う「日本人としての誇りと感性」を岡山の人々に演奏を通じて伝えるため「日本の心」と題して里帰りコンサートを企画するなど、若き後輩の指導にも力を注ぎ、文化芸術の普及・振興に尽力していることは県民の誇りである。
- **高月 國光** 【美術(陶工芸 木工芸)】
  - 平成29年5月に開かれた日本工芸会中国支部60周年記念展で金重陶陽賞受賞。平成29年8月には、第64回日本伝統工芸展に出品した「櫛造鉢」で上位7賞の一つNHK会長賞を受賞し、県民に喜びと感動を与えた。
- **竹田喜之助顕彰会** 【総合芸術(人形劇)】
  - 糸操り人形師竹田喜之助の偉業を顕彰するだけでなく全国に類を見ない糸操り人形劇の祭典「喜之助フェスティバル」の中心的役割を担い、糸操り人形劇の普及発展と地域文化の向上を目的に活動している。また、地域で活動する人形劇アマチュアサークルの育成を目的に上演・稽古用の移動式舞台・照明器具・舞台音響設備・調光機等を寄贈し活動が継続できるよう次代の育成に尽力している。併せて出前上演を行い、文化振興・啓発活動に貢献している。





## 贈呈式

**と き:**平成30年10月23日(火) 午前11時30分より

**と ころ:**ホテルグランヴィア岡山「フェニックス」

- 式次第:**
- |             |                |
|-------------|----------------|
| 1 開 式       | 5 受賞者代表あいさつ    |
| 2 あいさつ      | 6 活動助成金贈呈      |
| 3 来賓祝辞      | 7 活動助成団体代表あいさつ |
| 4 表彰盾及び副賞贈呈 | 8 閉 式          |



## 受賞者からのひとこと

マルセン栄誉大賞 スキー クロスカントリー・新田 佳浩



マルセン栄誉大賞  
受賞にあたって

まず、この賞を推薦していただいた関係者の皆様、そして素晴らしい式典を開催していただいたマルセンスポーツ・文化振興財団関係者の皆様に感謝申し上げます。

2010年のバンクーバーパラリンピックでの金メダル2個の獲得で大賞を受賞しましたが、今回の平昌パラリンピックでの栄誉大賞は私にとって感慨無量でした。

前回のソチ大会では、人工降雪機によるスキー選定のミスなどがあり、メダルには1歩届かない4位という成績でした。

帰国する中で一時は引退ということも頭をよぎりましたが、そこで支えてくれたのは「家族」という存在でした。妻はもちろんのこと当時3歳の息子が手作りの金メダルを渡してくれました。

そんな家族のために、自分自身が競技者としてどこまでパフォーマンスを高められるかという挑戦をこの4年間行ってきました。

競技力面だけでなく、ソチでの反省から平昌では日本オリジナルの用具、道具の開発も行われてきました。そして平昌では世界初の取り組みでもある気象予報士を帯同させて大会に臨みました。

今回の平昌でのメダル獲得は私自身にとっても非常にうれしいことでしたが、支えてきてくれた家族、スタッフ、多くの応援がなければできないことでした。

年齢を重ねて競技者としてのピークは過ぎているかもしれませんが、「環境や体制を少し変えるだけでパフォーマンスが大きく変化していく」ということを体現できたこともこれからの若い世代の選手に示すことができたのではないかと考えています。

ただ、世界は月日と共に常に変化してきています。その変化をいち早く察知し、それ以上の工夫と変化を恐れないことを大切に、岡山県民、そして全国の皆さんが「心が震える」滑りができるように精進していきたいと思えます。



「2016ジャパンパラクロスカントリースキー競技大会」(写真提供:日立ソリューションズ、撮影:阿部謙一郎)

## マルセン文化大賞

美術 陶工芸(備前焼)・金重 有邦



## 御礼のことば

この度はマルセンスポーツ・文化振興財団の文化大賞にご推挙いただき、財団の皆様をはじめ関係各位の皆様にご御礼申し上げます。此の度の受賞は、只々備前焼千余年の伝統と先達の皆様のご苦勞の上にあるもので、併せて深く感謝の念を抱くばかりです。

絵画や彫刻等の一般的な美術の観賞は目で見、頭で考えるものですが、陶工芸の場合はその他に、手で触れ、口に触れる、いわゆる感触で楽しむという鑑賞方法があります。私の仕事はそのような味わいに重きを置いております。近年では発表の場所が美術館やギャラリー等、視覚を限定とする展示が多く、そういった楽しみを提示できない事を大変残念に思っております。

近年の科学技術の進歩、発展は目覚しく、私の年代の苦手とするインターネット文明は未曾有の進歩を続け、まさに、文明・文化の変節期をむかえるのではと想像します。とは申しまして、そういった電子技術もいつか行き詰る局面が来ることと思います。その時、備前焼と同じく、地域風土に根ざした手工芸の温もり技術はかならずや必要とされると思っています。

昨今、陶工芸をとりまく経済的環境は厳しいものがありますが、この伝統を絶やす事の無いよう精進、努力につとめて参る所存です。今後ともご助力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



伊部水指(撮影：木村羊一)



## マルセン文化大賞

伝統文化 将棋・菅井 竜也



## 感謝

このたびはマルセン文化大賞という名誉ある賞を賜り、身に余る光栄なことで感謝申し上げます。

父の影響から5歳で将棋を覚え、大人と同じルールで対等に勝負できることに夢中になりました。小学4年生で倉敷市の大山名人記念館に通うようになってからは、地元の方が将棋クラブをつくってくれたり、強豪が集まるところに連れて行ってくれたり。地域の皆さんの支えによって力を伸ばすことができました。岡山県に生まれたからこそ、棋士になれたと感謝しています。

タイトル獲得は長年の目標でした。手にすることができた「王位」の防衛を果たせなかったことは実力不足です。ですが、強い相手に向かっていく面白さや将棋が好きだという気持ちに、今も昔も変わりはありません。必ず勝ち負けが決まる厳しい勝負の世界の中で、負けても負けても向かっていく。将棋を通じて身に付けた「勝負根性」で、再び皆さんに良い報告を届けたいと思っています。

また、2018年は西日本豪雨によって県内に甚大な被害が発生し、当たり前前に将棋が指せることへ、感謝の気持ちを改めて感じた年でもありました。災害に遭われて大変な時も、私の将棋の結果を気にかけてくださる方々がいる。その期待に応えることが、私が将棋を指す意味だと思っています。

今後とも何卒格別なるご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



「第59期王位戦」17番勝負第1局が始まり、初手を指す先手の菅井王位(右)と豊島八段=2018年7月4日、愛知県豊田市(写真提供：山陽新聞社)

## マルセンススポーツ賞 球技 ソフトボール・創志学園高等学校女子ソフトボール部



### 応援を力に変えて

この度は、マルセンススポーツ賞に選出して頂き、ありがとうございます。創志高校女子ソフトボール部一同心よりお礼申し上げます。私たちは、昨春の第35回全国高等学校選抜大会(兵庫県)夏の第69回全国高等学校総合体育大会(山形県)そして今春の第36回全国高等学校選抜大会(岐阜県)で優勝し3季連続の日本一を達成できました。

昨春の選抜大会決勝では、岐阜県代表、多治見西高校の高い屈指、剛腕、勝股投手より2点を奪い2-0で優勝しました。2014年、2016年と準優勝が続く中、やっと3度目の決勝で悲願の初優勝が獲れました。大会まで素振り500回、厳しいトレーニングでは体作りに取り組み、みんなの気持ちが一になったことが結果に繋がったのだと思いました。

4月に新入生を迎え、チームは35人となりました。「インターハイで優勝するためには…」を一人ひとりが考え、毎日課題を持って取り組みました。そして挑んだインターハイ。厳しい試合を勝ち進み、決勝戦は、静岡県代表の飛龍高校に投手戦となりましたが、8回タイブレークの末1-0で春夏連覇を達成しました。

インターハイを終えると、次の代へとバトンタッチしました。今春の選抜大会は、選抜2連覇と春夏春の3季連続優勝を宣言し、チームが一つになって挑みました。しかし、大会直前まで打順・ポジションも決まらず不安もありましたが、「今ある力で！」をモットーにチャレンジしました。初戦から、毎回活躍する選手が変わるほどチームの調子は上がり、総合力で勝ち上がることができました。決勝では、長崎県代表の九州文化学園高校に6回裏ツーランと1点追加3-0で、選抜2連覇、3季連続優勝を達成しました。

私たちがこのような結果を残せたのは、熱心に指導して下さる監督さんのお陰です。一人ひとりに真剣に向き合い、チームを一番に考えて下さる監督さんのために、「必ず日本一になるんだ」という気持ちでどの大会も挑みました。

また、歴代の先輩方が「もう一度全国の舞台に立ちたい」と思わせてくださったからだと思います。歴代の先輩方には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

そして、学校の先生方や保護者の方々、地域の方々の応援が私たちの支えになり、頑張る原動力になりました。

これからも創志学園高校女子ソフトボール部は、良き伝統を引き継ぎ、日本一を目指していきます。応援よろしくお祈りします。

主将 白石 千晴



## マルセンススポーツ賞 アニマル 馬術・福岡 珠緒



### 馬場馬術

この度は、第15回マルセンススポーツ賞に選んで頂き大変光栄であり、感謝しています。

私の行っている馬術は、一般的にはマイナー競技ではありますが、オリンピック競技では唯一動物と行う競技であり、年齢制限も無ければ男女の区別もありません。本場ヨーロッパでは大変人気の高いスポーツです。その中でも私は「馬場馬術」という競技をしています。馬場馬術とは、決められた運動項目を正確に行う規定演技。自身の選んだ楽曲に合わせながら、決められた運動項目の中で難度を取り入れる自由演技。どちらも馬をいかに優雅にダイナミックに魅せられるかを競う採点競技です。よくフィギュアスケートに例えられることが多いです。

私は、7歳から乗馬を始め10歳で初めて競技に出場しました。11歳に現在のクラブに移籍をして本格的に馬術へ転向。今の愛馬ティータとコンビを組んだのは14歳からです。この馬との出会いが私の競技人生を大きく変えてくれました。ティータは非常に大人しく、我慢強い、とても真面目な馬です。コンビを組んで3カ月で全日本ジュニア馬場馬術大会チルドレンライダー優勝。その後、全日本ジュニア選手権3階級制覇も成し遂げることが出来ました。国体では、史上初となる少年の部で2種目3連覇を達成したことは、私にとって貴重な経験であり愛馬ティータに感謝しています。この結果は私一人の力ではなく、馬の調教や調整をして頂き私のコーチもして頂いている稗田コーチ夫妻、馬に携わる環境を与えてくれる両親、いつも応援してくれる友達や仲間にも恵まれているからこそです。

今後は、競技者である以上チャンスがあれば世界を目指していきたいと思っていますし、馬術を皆さんに知って頂けるよう、馬術界にも貢献していきたいと思っています。

この度頂いた賞は、私自身の励みにもなり、今後の希望に繋がると思っています。



## マルセンスポーツ賞

パワー 重量挙げ・森川 朋哉



# 高校生活 最高の思い出

今回は立派な賞を受賞できたことを大変うれしく思っています。指導して下さった牧野先生も第4回にこの賞を受賞されたと聞き、このスポーツ賞の重みを実感しています。

笠岡工業高等学校に入学して初めてウェイトリフティング競技を知りました。友達に誘われるまま入部しましたが、毎日の筋肉痛に何度も挫けそうになったのを覚えています。

競技を始めたばかりの頃は他校の選手に負けることが多くて悔しかったですが、ある日先生に「おまえの脚力は最大の武器だ」と言われ、先生のアドバイスを受けながら、自分の特徴である「脚力の強さ」を生かせるフォームに変更し、長い時間がかかりましたが何とか2年生でフォームの完成が出来ました。

それからは面白いように自己記録が更新していきました。試合の度に記録更新ができる事が楽しくて、また一層練習に励むようになりました。2年生の時、地元笠岡で開催されたインターハイにも出場出来ましたが、結果は散々なものでした。ショックのあまり数カ月もの間スランプに陥りました。「練習は嘘をつかない」先生から何度も何度も聞かされた言葉です。幸いにも年が変わった頃から再び好調の波が来ました。3月の全国高校選抜大会では自分でも驚く程の絶好調で、得意のクリーン&ジャーク種目で優勝出来ました。8月のインターハイでは、当日の朝先生から「今日は優勝しか狙わんから」とプレッシャーをかけられ、不安一杯でしたが、先生の作戦通りに指示された重量を持ち上げて、気がついたら優勝していました。10月の国体では残念ながら逆転負けの2位でした。

高校3年間このウェイトリフティング競技に出会えたことに感謝し、良い指導者と最高の仲間に出会えたことが、高校生活最高の思い出を作ってくれました。



## マルセン文化賞

音楽 打楽器(マリンバ)・内山 詠美子



# マルセン文化賞 受賞によせて

このたびは、マルセン文化賞を受賞させて頂き、大変光栄に思います。また受賞式では、皆様に音楽をお届けできましたことをうれしく思います。

今年、ヨーロッパに生活の拠点を置いて13年が経ちました。Waveマリンバ四重奏のメンバーとして11年、マイナー楽器だったマリンバが、徐々に音楽を奏でることのできる楽器と認知されるようになり、マリンバ奏者として世界中で演奏活動ができるようになってきました。3歳よりマリンバを始め、楽しくて仕方なかった幼少時代。マリンバに魅せられ、没頭した学生時代。マリンバのおかげで多くの方々と素晴らしい出会いがありました。そしてこの長い間には、もちろん辛い苦しい思いも経験し、そのおかげで、色濃く鮮やかな人生を歩ませてもらっていることに、今は感謝しています。全てを包み込む、マリンバの豊かな暖かい音を通して、そこにいる方々とコミュニケーションがとれるようになったなんて、夢のようです。

21世紀を迎え、人々の価値観は効率性「ものの豊かさ」から、人間的なぬくもりを重視した「こころの豊かさ」へと変化し、多くの人々は文化を享受できる環境を望むようになってきました。ヨーロッパでは人が集まる場所には、音楽があります。人々は芸術文化に触れる機会が増えるたびに、感動や喜びを敏感に感じ取れるようになり、そのような体験は、目に見えない心の財産として、心に潤いを与えてくれます。

このような賞を頂き、人々の感動や喜びの体験に少しでも携わることができるよう、努力したいと改めて感じました。また、皆様とのつながりを大切に、岡山と世界への架け橋となれるよう、もっともっと人間を磨き、さまざまなことに挑戦していきたいと思います。最後になりましたが、このような機会をくださった皆様に心より御礼申し上げます。



## マルセン文化賞

美術 陶芸(木工芸)・高月 國光



## 受賞にあたり

まず、栄えある賞を受賞できましたことを皆様に感謝し、心より御礼申し上げます。

工芸というものは、日々地味な仕事の積み重ねです。そのような中、賞をいただき、また晴れの場を設けていただきましたことが、今後の制作に向け、大変励みになりました。重ねて御礼申し上げます。

樹齢数百年の木を私は素材としてつかうことがあります。そこからじみ出る優しさ、温かみに包み込まれると圧倒されそうになります。そこに自分自身、何ができるのか、この手でなにができるのか数百年の命に対し、気が付くと合掌しています。

この度の受賞に際し評価いただいたのは伝統工芸展での受賞が大きかったと思いますので、その時の気持ちなどを述べさせていただきます。

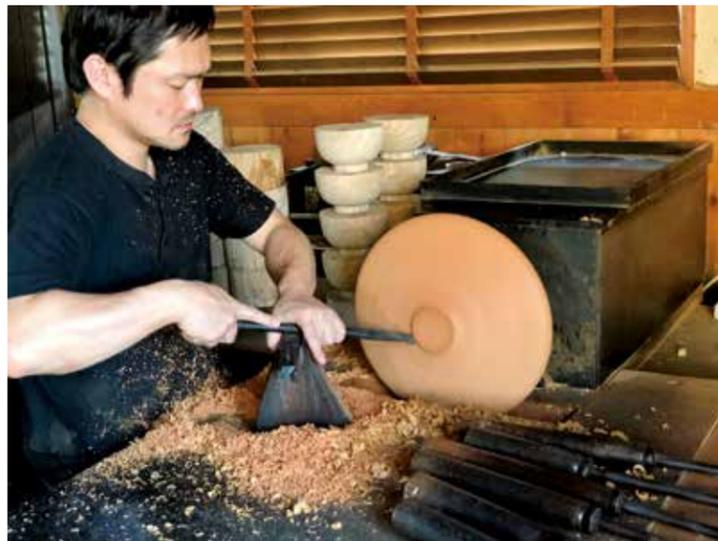
「受賞おめでとう」。8月下旬、人間国宝の先生からの突然の電話がありました。伝統工芸展「NHK会長賞」受賞の知らせでした。「僕、高月ですよ」。今思えば、先生に対して大変失礼な返答をしてしまったと、反省しています。受賞の知らせに本人が一番驚いていたのはまちがいでなく、信じ難いことでした。知らせの電話に少し落ち着きを取り戻したころ、「あなたの作品で良かったところは、素直なところだ」と先生が仰って下さいました。その言葉に受賞の実感を少しずつ、感じはじめました。

素材に相對した時、賞をとりたい気持ちは少し休んでもらって、今、自分にできること、ただそれだけを込めた作品であったように思います。いまだから言える事かもしれませんが、そのときは素直にそう思えたのです。その思いを大切にしたい。

蒜山に移り住み15年が経ちましたが、いつも皆に支えられ何とかやっています。気が付くと仕事場に野菜が置いてある、そんな例を挙げればき

りがありませんが、人からはもちろん、蒜山という場から言葉にならない何かを感じ、それが作品に影響を及ぼしているのは間違いありません。

この蒜山で一所懸命、なにがうまれてくるのか、こつこつとろくろをひきつづけます。



## マルセン文化賞

総合芸能 人形劇・竹田喜之助顕彰会

守る地域が誇る人形劇文化を  
竹田喜之助顕彰会

このたび栄えあるマルセン文化賞を賜り心より感謝申し上げます。

世界的な糸操り人形師「竹田喜之助」は大正12年、瀬戸内市邑久町に生まれ、東京大学機械工学科を経ながら、昭和25年伝統の糸操りに魅せられ人形劇界に入った異色な人物です。やがて人形づくりに優れた学問と技術を取り入れ、造形美と構造的完璧さなどで操り技法を多彩にした結果、日本の糸操り人形劇界に急速な進歩をもたらしました。その作品は「喜之助人形」と命名され、生涯に制作した人形等は約2,600体に及んでいます。しかし、昭和54年9月稽古の帰途交通事故に遭遇、不帰の人となりました。享年56歳。それまでの「竹田喜之助後援会」から偉業の顕彰と地域における芸術文化の向上に寄与しようと、「竹田喜之助顕彰会」に改めました。主な顕彰事業は、①喜之助人形等遺品の収集及び展示。②その後始まった人形劇の祭典「喜之助フェスティバル」の発展を図るため、他に類を見ない冠に「喜之助」の固有名詞がついています。③グラビア絵本「喜之助人形」の発刊。④アマチュア糸操り人形劇団育成の支援。現在、会員のアマチュア糸操り人形劇団5劇団が活躍しています。⑤竹田喜之助顕彰碑の建立。⑥全国初の喜之助人形里帰り展(人形等120点)を瀬戸内市美術館で開催。⑦行政主催時には企画委員、実行委員等として全面的支援してきました。しかし、行政は平成20年(第20回)をもって諸事情を理由に継続を中止しました。翌平成21年からは「竹田喜之助顕彰会」と、「瀬戸内市アマチュア人形劇団協議会(顕彰会員)」が中心となり、市民実行委員会を立ち上げ継続してきました。今年の第30回を契機として名称を「喜之助人形劇フェスタ」に変更し、引き続き地域が誇る人形劇文化を守り、さらなる発展を目指して新たな知恵を結集したいと考えています。今回のマルセン文化賞は今後の活動に大きなさえとなります。ありがとうございました。

会長 内田 明生



# ホットコーナー

## TOKYO 2020

### プレ五輪イヤー

プレ五輪イヤーとなる2019年がスタートした。

今年は、2020年東京五輪へのカウントダウンが始まるとともに、1964年以来56年ぶりに国内で開かれる夏の五輪出場切符を巡る戦いが本格化する。自国開催の夢舞台へチャレンジする岡山ゆかりのアスリートたちにとっても、重要な勝負の年になる。

有森裕子さん(岡山市出身)が92年バルセロナ銀、96年アトランタ銅と五輪連続メダルを獲得した陸上女子マラソン。注目のマラソン代表選考会「グランドチャンピオンシップ(MGC)」は9月15日に実施される。これまで五輪代表4人を送り出している天満屋女子陸上競技部は、小原怜選手(興譲館高出)、前田穂南選手、谷本観月選手(琴浦中、鈴峰女高出)の3人がMGCの出場権を獲得した。

このほか、水泳やレスリングは上位に入れば五輪出場が決まる世界選手権が開かれ、陸上のトラック、フィールド種目は代表選考の基準になる世界ランキングの対象大会が始まる。団体球技では、バ

レーボールのワールドカップ(W杯)、ハンドボールの世界選手権といったアピールの場が控えている。

前回五輪の2016年リオデジャネイロ大会は、岡山勢10人(7競技)が日本代表に名を連ねた。5位入賞したバレーボール女子の宮下遥選手(岡山シーガルズ)や石井優希選手(久光製薬、就実高出)、自転車男子BMXの長迫吉拓選手(MXインターナショナル、笠岡市出身)らは2大会連続の五輪出場を見据える。

東京五輪に向けた前哨戦と位置づけられた昨年のジャカルタ・アジア大会。郷土選手が目覚ましい活躍を見せたことは記憶に新しい。

このアジア大会で岡山勢は19競技に30人が出場し、20個(金7、銀6、銅7)のメダルを獲得した。BMXで男女を通じて初の金メダルに輝いた長迫選手をはじめ、柔道混合団体では田中志歩選手(環太平洋大)、ソフトボールは原田のどか選手(太陽誘電、岡山南高出)らがアジア制覇に貢献した。



岡田直也選手



宮下遥選手



原田のどか選手



長谷川智将選手



佐藤友祈選手(右)と松永仁志選手



長迫吉拓選手

### 岡山勢羽ばたけ

陸上の男子400m障害と1600mリレーでいずれも銅メダルの安部孝駿選手(デサント、光南高出)、競泳男子50m自由形3位の中尾駿一選手(山陽新聞社、岡山大出)らも初の五輪へステップを踏んだ。

明るいニュースも県内に飛び込んできている。12年ロンドン五輪長距離代表で東京五輪を視野に現役復帰した新谷仁美選手(NIKE TOKYO TC、興譲館高出)が昨年12月、1万mで今秋の世界陸上参加標準記録を突破。柔道界では女子のホープ素根輝選手(福岡・南筑高)の環太平洋大進学が明らかになった。

1964年の前回東京五輪で、岡山勢は陸上など4競技に7人が出場した。あれから半世紀余り。郷土の期待を背負い、精鋭たちの競技人生を懸けた挑戦が始まる。



東京パラリンピックを目指す岡山の障害者スポーツ選手たちも2020年を視野にパフォーマンスを高め

ている。

16年リオデジャネイロ大会で岡山勢は車いす陸上に3選手が出場した。T52クラス400、1500mの2種目で銀メダルをつかんだ佐藤友祈選手(グロップサンセリテWORLD-AC、岡山市)は世界記録を塗り替え、昨年アジア大会で2冠。東京での金メダル獲得に向け順調に歩んでいる。

佐藤選手の指導者でもあり、T53クラスで400、800mを主戦場とする松永仁志選手(同)は4大会、女子短距離種目で活躍する木山由加選手(オー・エル・エム・デジタル、新見市出身)は3大会連続出場が期待される。

他競技では、カヌーの山田隼平選手(パナソニック吉備)が日本協会の強化選手に選ばれ、卓球の井上全悠選手(山陽学園大職)は昨年12月の国際大会で優勝するなど夢舞台に着実に近づいている。



藤田健児選手



上田仁選手



田中志歩選手



小原怜選手



中尾駿一選手



前田穂南選手

岡山フィルハーモニック管弦楽団

首席奏者らを迎えて新生岡フィル始動



首席奏者がデビューした第57回定期演奏会。ベートーベンの交響曲第4番を華やかに響かせた=2018年10月14日

団員の信頼関係。首席奏者の固定化で岡フィルはチームとして育ち、指揮者もチームとしての信頼感を持てる。カラヤンが率いたベルリン・フィルの首席を長年務めたオーボエ奏者、シェレンベルガー氏は、岡フィルの客演指揮(2009年)が縁となって、13年に首席指揮者に就任し、当初から団員の固定化や演奏会の充実を提唱してきた。

動き出したのは、創立

25周年の17年。主要パートのオーディションを行い、全国から211人の応募があった。2回の定演を経て選ばれたのが、倉敷市出身のクラリネット・西崎智子さん(東京都)をはじめ、オーボエ・工藤亜紀子さん(同)、ピオラ・七沢達哉さん(同)、コントラバス・谷口拓史さん(神奈川県)、フルート・畠山奏子さん(茨城県)、ホルン・梅島洸立さん(東京都)、トランペット・小林鴻さん(同)の7人。いずれも大学院生やフリーで活躍する20~30代の若手演奏家たちだ。特別首席奏者として岡山市出身のチェロ・松岡陽平さん(神奈川県)、バイオリン・釋伸司さん(大阪府)も加わった。県市が出資を上積みし、地元経済界などからの支援も増えて財政面も充実してきている。

「例えるなら、食材の良さを引き出す料理人」と、シェレンベルガー氏に厚い信頼を寄せる高畑氏は、ドイツでの氏との共演をきっかけに岡フィルのコンマスを決意したという。指揮者、コンマス、首席奏者、団員の体制がととのい、練習やステージを重ねるごとに



カラヤンから学んだという「集中力」「情熱」を持って岡フィルの指揮に当たるシェレンベルガー氏。現在の岡フィルを「今まさに発展しているところ」と話す

マエストロと紡ぎあげる独自の音色

深まっているのが相互のコミュニケーション。シェレンベルガー氏は「一体感が生まれ、毎回の共同作業が楽しい」と目を細める。1月に開かれた第58回定演、モーツァルトのオペラ「フィガロの結婚」では、軽快な音色がホールを温かく包み、1500人を超える観客を楽しませた。

シェレンベルガー氏の任期は21年度末まで3年間の延長が決まった。19年度は年3回だった定演が4回に増え、ニューイヤーのオペラハイライトや初の津山公演も予定されている。1回1回の演奏会のたびに、岡フィルの成長を実感できる3年間になるだろう。岡フィルがマエストロとともに岡フィル独自の音色を紡ぎあげていく、プレミアムな音楽ドキュメンタリーを、ファンだけでなく、岡山県民として見逃

したくない、聴き逃したくない。(本文は山陽新聞社提供、写真は山陽新聞社・岡山シンフォニーホール提供)



岡山ゆかりの声楽家らを迎えて盛り上がったモーツァルトのオペラ「フィガロの結婚」のステージ=2019年1月20日

2019年度 岡フィルの主な演奏会

第60回定演 5月26日(日) 15時開演

指揮=H・シェレンベルガー  
R. シュトラウス オーボエ協奏曲  
モーツァルト 交響曲第38番「プラハ」  
ブラームス 交響曲第3番

第61回定演 7月21日(日) 15時開演

指揮=園田隆一郎 サクソフォン=上野耕平  
イペール アルトサクソフォンと11の楽器のための小協奏曲  
ムソルグスキー 展覧会の絵ほか

第62回定演 10月20日(日) 15時開演

指揮=H・シェレンベルガー  
ピアノ=ジャン・チャクムル(第10回浜松国際ピアノコンクール優勝者)  
ブルックナー 交響曲第4番ほか

ニューイヤーコンサート 1月26日(日) 15時開演

指揮=H・シェレンベルガー  
オペラハイライト 岡山ゆかりの若手声楽家たち

第63回定演 3月22日(日) 15時開演

指揮=太田弦 バイオリン=青木尚佳 チェロ=岡本侑也  
ブラームス バイオリンとチェロのための二重奏曲  
メンデルスゾーン交響曲第3番「スコットランド」ほか

\*「岡山シンフォニーホール・岡山フィルハーモニック管弦楽団友の会」(年会費2000円)に入会すれば、上記5公演のS席通し券(同じ席の指定可能)が20000円で購入できる。販売は4月20日まで。問い合わせは、岡山シンフォニーホール友の会事務局(086-234-2010)

首席奏者



特別首席奏者



## 第3章 イベントの開催(主催・共催)

岡山県のスポーツ・文化の振興発展を支援するため、次の事業を実施しております。

### 1 スポーツ

#### ● マルセンスポーツ教室「岡山リベッツの卓球教室」

- 日 時：平成31年1月27日(日) (午前の部) 9時30分～12時 (午後の部) 13時～15時30分
- 会 場：岡山リベッツ卓球スポット岡山店
- 参加者：70名(各部35名 応募人数150名)
- 講 師：上田仁選手、三部航平選手、有田洋巳選手、白神宏佑監督等(岡山リベッツ)



### 2 文化

#### ● (公社)岡山県文化連盟「おかやま文化芸術アソシエイツ」(旧「文化のつどい」) ～おかやま子どもみらい塾～

- 日 時：平成31年1月10日(木) 8時55分～12時45分  
平成31年1月15日(火) 14時～16時
- 会 場：大原美術館、倉敷市立黒崎中学校
- 参加者：25名
- 内 容：子どもたちに「本物の文化・芸術体験」の機会を提供し、大原美術館で作品を鑑賞することにより、感性を豊かにすること。また、地域の優れた作家(高橋秀氏)の指導を受けることで、美術を愛する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。主体的・対話的に美術活動に取り組み、創造活動の喜びを味わうことを目的に実施した。



#### ● マルセン文化教室

- ◎ 「井手康人の日本画教室」社会人対象：18名参加(応募19名)
  - 日 時：平成30年6月23日(土) 10時～15時
  - 作品展示：倉敷市立美術館(第73回「春の院展」倉敷会場)  
平成30年6月27日～平成30年7月8日
  - 会 場：岡山市北ふれあいセンター
  - 後 援：岡山県教育委員会、日本美術院「地域連携教育プログラム」
- ◎ 創立15周年記念事業「再興第103回院展特別講座「親子日本画教室&マルセン日本画教室」(中高校生対象) 36名参加(応募 中学9校19名 高校6校17名)
  - 日 時：平成30年12月22日(土) 13時～16時
  - 作品展示：天満屋岡山店葦川会館(第103回院展岡山会場)  
平成31年1月2日(水)～平成31年1月14日(月)
  - beyond2020認証事業
  - 会 場：山陽新聞社9階会議室
  - 主 催：日本美術院、山陽新聞社
  - 共 催：日本美術院「地域連携教育プログラム」、マルセンスポーツ・文化振興財団



## 第4章 広報啓発育成事業

競技スポーツ及び芸術性の高い音楽・演劇等の観賞の機会の提供を通じて、スポーツ・文化の振興発展に努めております。

### 1 啓発育成事業

#### ア チケットプレゼント

##### ① スポーツ関係

- ◎ 山陽新聞レディースカップ(寄附)
  - 期 日：平成30年9月14日(金)～16日(日)
  - 会 場：玉野市 東児が丘マリンヒルズゴルフクラブ
  - 招待者：200組(400名) (応募者数 293名)
- ◎ Vリーグ観戦チケット(岡山シーガルズホームゲーム)
  - 期 日：平成31年1月26日(土) VS KUROBE アクアフェアリーズ
  - 期 日：平成31年1月27日(日) VS トヨタ車体クインシーズ
  - 会 場：ジップアリーナ岡山
  - 招待者：各30名 (応募者数224名)
- ◎ Tリーグ観戦チケット(岡山リベッツホームゲーム)
  - 期 日：平成31年2月16日(土) VS KM東京
  - 期 日：平成31年2月17日(日) VS T.T彩たま
  - 会 場：岡山武道館
  - 招待者：各50名 (応募者数426名)

##### ② 文化関係

- ◎ 第73回春の院展倉敷展
  - 期 日：平成30年6月27日(水)～7月8日(日)
  - 会 場：倉敷市立美術館
  - 招待者：50名(日本画教室参加者18名) (応募者数122名)
- ◎ ポーラ美術館コレクション 「モネ、ルノワールからピカソまで」
  - 期 日：平成30年7月6日(金)～8月26日(日)
  - 会 場：岡山県立美術館
  - 招待者：270名(うち、220名は寄附) (応募者数483名)
- ◎ 松本和将の世界音楽遺産ドイツ・ロマン編 ～クララをめぐる～
  - 期 日：平成30年11月4日(日)
  - 会 場：ルネスホール
  - 招待者：30名 (応募者数131名)
- ◎ ベートーベン「第九」演奏会(創立15周年記念事業)
  - 期 日：平成30年12月9日(日)
  - 会 場：岡山シンフォニーホール
  - 招待者：30名 (応募者数198名)
- ◎ 再興第103回院展岡山展
  - 期 日：平成31年1月2日(水)～14日(月)
  - 会 場：天満屋岡山店葦川会館
  - 招待者：250名 (応募者数569名)
- ◎ 秀桜基金留学賞10年、そして「今」展
  - 期 日：平成31年1月18日(金)～2月24日(日)
  - 会 場：岡山県立美術館
  - 招待者：50名 (応募者数70名)
- ◎ 第32回倉敷音楽祭  
「人形浄瑠璃」～文楽～
  - 期 日：平成31年3月8日(金) (昼間20名 夜間10名)
  - 会 場：倉敷市芸文館
  - 招待者：30名 (応募者数124名)

## 第4章 広報啓発育成事業

「倉敷のヴィルトゥオーゾVol4」～3大ピアノトリオを聞く!～

- 期 日：平成31年3月17日(日)
- 会 場：倉敷市芸文館
- 招待者：30名 (応募者数90名)

### ① ホームページ・Facebookを通じての広報

### ② 広報誌「マルセン」15号の発刊

### ③ 活動助成団体によるラジオ番組出演(活動状況報告)

#### ◎ RSKラジオ「おかやま元気応援団! 2018」

「表町LIVE あもーれ!マッターリーノ」の中、13時～16時30分の中で10分程度放送

パーソナリティ メイン：奥富亮子 サブ：廣瀬麗奈 坂本大輔 多賀公人

- 期 間：平成30年11月19日(月)～12月12日(水)
- 出演団体：スポーツ関係 10団体 文化関係 11団体

## 2 協賛・後援事業

### ア スポーツ関係

#### ◎ 第37回山陽女子ロードレース大会

- 主 催：(株)山陽新聞社 他 主管 岡山陸上競技協会
- 期 日：平成30年12月23日(日)
- 会 場：岡山市内(岡山県陸上競技場出発着)
- 協賛額：1,080千円



### イ 文化関係

#### ◎ おかやま子どもみらい塾

- 主 催：公益社団法人岡山県文化連盟
- 期 日：平成31年1月10日(木)  
平成31年1月15日(火)
- 会 場：大原美術館、倉敷市立黒崎中学校
- 協賛額：100千円



#### 【名義後援】

#### ◎ 倉魂!「高校生コミック・イラストコンクール2018」

- 主 催：倉敷芸術科学大学
- 期 日：平成30年6月1日(金)～平成31年3月31日(日)
- 会 場：倉敷芸術科学大学及び関係施設

#### ◎ 第3回おかやまスポーツフェスティバル

- 主 催：公益財団法人岡山県体育協会
- 期 日：平成31年3月3日(日)
- 会 場：岡山県総合グラウンド、児島マリナプール

写真提供は各協賛団体

## (II)財団の活動

### 法人管理

#### 1 会議等

##### ● 評議員会

##### (1)臨時第1回評議員会 平成30年6月13日(水)

- ①平成30年度収支補正予算の件
- ②第15回マルセンスポーツ・文化賞候補及び協賛事業・名義後援の件
- ③書面により定時評議員会の開催の件 等

##### (2)定時評議員会(書面) 平成30年6月28日(木)

- ①平成29年度事業報告及び収支決算の件

##### (3)臨時第2回評議員会 平成31年3月8日(金)

- ①平成31年度事業計画書承認の件
- ②平成31年度収支予算書承認の件

(決議事項及び報告事項を記載)

##### ● 理事会

##### (1)臨時第1回理事会(書面) 平成30年4月26日(木)

- ①臨時第1回評議員会開催の件
- ②選考委員(山口徹尚)選任の件

##### (2)定時第1回理事会 平成30年6月13日(水)

- ①平成29年度事業報告及び収支決算の件
- ②第15回マルセンスポーツ・文化賞候補及び協賛事業・名義後援の件
- ③平成30年度収支補正予算の件
- ④書面による定時評議員会開催の件
- ⑤理事長の職務執行状況報告

##### (3)臨時第2回理事会 平成30年12月19日(水)

- ①協賛事業決定の件
- ②名義後援決定の件

##### (4)臨時第3回理事会(書面) 平成31年2月12日(火)

- ①臨時第2回評議員会開催の件
- ②平成30年度収支予算補正の件

##### (5)定時第2回理事会 平成31年3月8日(金)

- ①平成31年度事業計画書承認の件
- ②平成31年度収支予算書承認の件
- ③平成31年度スポーツ・文化活動助成事業決定の件
- ④平成31年度協賛・後援事業決定の件
- ⑤次期選考委員の選任の件
- ⑥平成30年度事業報告及び予算執行状況報告
- ⑦理事長の職務執行状況報告

(決議事項及び報告事項を記載)

##### ● 監 査 平成30年5月23日(水)

# お知らせ

## マルセンスポーツ・文化活動助成事業について

当財団では、スポーツ活動及び文化活動にかかる助成事業を毎年実施しております。  
詳細(募集要項)については、「財団ホームページ」及び11月初旬、生涯学習施設に配布する「募集のお知らせ」にてご確認ください。

記

1「助成事業申請書」の入手／財団ホームページから関係申請書をダウンロードしてください。

2 募集期間／毎年11月15日から翌年1月20日(期日が土日曜日の場合は、翌月曜日)

3 助成額／10万円(限度額)

4 助成金交付決定の時期／3月下旬

5 審査基準

- ・活動の目的及び内容が当財団の助成目的に沿ったものであること。
- ・活動内容が具体的であるもの。
- ・活動の参加に制限がなく、誰でも参加できるものであること。
- ・概ね1年以上の活動実績があること。
- ・助成金の使途が適切であり、助成の緊要度が認められること。
- ・岡山県内で行われる活動であり、岡山県内に所在する団体・居住する個人が実施すること。

6 留意事項

- ・助成金は、自己又は構成員へ支出する報酬・旅費等及び組織の維持費には充当できません。
- ・反社会的勢力と関係のある団体に該当する場合は、対象となりません。
- ・営利を目的とする活動は、対象となりません。
- ・その他、助成規程・助成事業実施基準をご確認ください。

7 申請書への添付書類(全て写しで可)

- ・組織の設置規程(規約等)
- ・昨年度の決算書、パンフレット、当該年度の事業計画(申請書に記載)
- ・助成審査前確認シート(様式2号)

8 その他

- ・申請書記載内容については、申請書記載例を参照のうえ、作成してください。事業計画欄に団体設置の目的、事業の目標、苦慮している点、成果目標等を600字内で簡潔に記載してください。
- ・別紙での提出は、参考資料のみとしてください。

### ●選考委員会

(1)第1回委員会 平成30年5月30日(水)

- ①第15回マルセン賞選考の件
- ②協賛事業(山陽女子ロードレース)・  
名義後援(倉魂!高校生コミックイラストコンクール)選考の件
- ③奨励賞新設の件(継続検討)
- ④創立15周年記念事業(講演)実施の件

(2)第2回委員会(書面) 平成30年11月9日

- ①名義後援(岡山体育協会主催「おかやまスポーツフェスティバル」)  
選考の件

(3)第3回委員会(書面) 平成30年12月6日

- ①協賛(岡山県文化連盟主催「おかやま子どもみらい塾」)選考の件

(4)第4回委員会 平成31年2月18日(月)

- ①平成31年度活動助成事業及び協賛事業選考の件

## 2 創立15周年記念事業

### ●公益財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団創立15周年記念 新田佳浩氏・あさのあつこ氏記念講演会

- ・日 時：平成30年10月24日(水) 13:00～16:20
- ・会 場：山陽新聞社 さん太ホール
- ・入場者：270名
- ・内 容：マルセン栄誉大賞受賞者で平昌冬季パラリンピックのノルディックスキージ距離で金銀メダリストの新田佳浩氏(西粟倉村出身)とマルセン文化大賞受賞者で作家のあさのあつこ氏(美作市)が「人生って素晴らしい」と題し、それぞれの人生を振り返りながら講演、対談を行った。最後にそれぞれの著書を参加者に抽選でプレゼントした。
- ・後援等：beyond2020 認証番号 b018000213

(新元号) 年度 スポーツ・文化 活動	<b>助成事業申請書</b>		受付日			
公益財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団 殿		いずれかを、○で囲む。 Excel版は選択となっている。	受付番号			
貴財団の助成を受けるため下記の通り申請いたします。なお、この書類に記載の氏名・住所等の個人提供に加え財団役員会又は関係行政機関に開示することに同意します。また、助成決定の際は、受託等に公表される場合があることに同意すると共に、助成金の交付条件である①助成事業に採用された場合に活動報告書を提出することのいずれかでもなかった場合、助成金交付の取消・返金を求められること。		郵便物の送付先 団体宛の住所の場合、その住所先団体名も記載してください 個人宅の宛名の場合、そのお名前も記載してください	シャチハタ不可			
団体名 (フリガナ) マルマルチョウシヨウフネンヤキウクラブ 〇〇町少年野球クラブ	構成人数 35人	所在地 (市区町村のみ) 岡山市北区	代表者名又は個人名 (フリガナ) オカヤマ タロウ 監督 岡山 太郎	申請について質問させていただける方		
住所 (連絡先) 〒 700-0023 岡山市北区駅前町〇-〇-〇	担当者 同上 *該当する場合は○をつけてください。	氏名もしくは、団体名 (〇〇様方)	クラシキ ハナコ 会計 倉敷 花子	平日昼間連絡できる電話番号・もしくはメール・ファックス宛名名称も記載してください。		
Tel 086 〇〇 〇〇××	メールアドレス marusen@yahoo.co.jp	Fax なし	携帯 090 - 〇〇〇〇- 〇〇××	※担当者のもをご記入ください		
申請区分 大分類( 1 競技スポーツ ) 小分類( 軟式野球 )	実施時期 年度内の実施時期を記載してください。	実施場所				
活動名 第20回 〇〇町学童親善野球大会	助成を受ける対象の活動名 事業内容や特徴が一目でわかる名称が望ましい。					
別紙 スポーツ・文化活動一覧から選んでください ※大分類は太字部分を記入	(事業計画欄 記入上の留意点) 助成を受けて、どのような活動を実施するのかを600字以内にまとめて、会の設立目的、苦慮している点、達成目標等を記載してください。当日の次第等は簡潔に。過去に助成を受けた団体等は、新たに工夫したことや前回より特に意欲的な点などを記入してください。					
助成を受けた際の財団名公表の方法	チラシ・ポスター・ホームページでの公表 大会当日のアナウンス。要項への記載等					
過去実績	※ 貴団体の設立時期、構成人数、活動内容等(1年以上の活動実績がなければ申請できません) (財団HP「助成事業実施基準」参照)		10万円以下の希望額を記入してください。 ※ 助成額は、申請された内容、規模等を審査して決定しますので、申請金額と異なる場合があります。			
予定事業収支計画	収入の部	項目	金額 (円)	項目	助成金当額の金額 (円)	内容
	支出の部	項目	金額 (円)	項目	助成金当額の金額 (円)	内容
収入合計	225,000	支出合計	225,000	収支金額は同額となり、※額計は財団助成額以上となること。		
備考	※年間個人負担額 5,000 円		(※ 130,000) 財団助成金充当額合計			
他の助成等を受けていますか?	はい	いいえ	〇〇会	「はい」の場合は、その助成申請先等の名称		
他の助成等の申請予定はありますか?	はい	いいえ		「いいえ」の場合で、過去に申請したが、不採用の年度(新規の場合は「新」と記載)		
過去に当財団の助成を受けましたか?	はい	いいえ	平成	年度	新	「受の場合」

記載例

- 当財団の助成金を充当する項目に ※ を記入してください。
- 備品等を財団の助成金で購入希望の場合、購入予定価格のわかる書類を添付してください。(見積り・カタログ等のコピー等。個別に記載すること。)
- 申請の内容が通年(1年間)に係る事業の場合は、年間予算額を、特定の期間の事業の場合にはその事業に係る予算額を記入してください。
- 収支計画の元となった、昨年収支実績もしくは事業収支を添付してください。
- 申請に当たっては「別紙のとおり」等と省略せず、簡潔にまとめて記載してください。

DATA ● 資料

事業の記録

1 助成の記録

● 第14回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)						合計	20件	2,000,000円
月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	累計	293件	35,364,969円
29.8.28	スポーツ	200	22件	9件	900,000円			
	文化		37件	11件	1,100,000円			
● 第13回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)						合計	22件	2,089,006円
月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	累計	295件	33,364,969円
28.11.4	スポーツ	208.9	20件	9件	851,000円			
	文化		52件	13件	1,238,006円			
● 第12回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)						合計	21件	2,067,650円
月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	累計	273件	31,275,963円
27.8.26	スポーツ	206.8	15件	7件	688,020円			
	文化		66件	15件	1,379,630円 (うち1件辞退)			
● 第11回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)						合計	26件	2,497,000円
月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	累計	252件	29,208,313円
26.8.7	スポーツ	120万円	21件	12件	1,119,000円			
	文化	130万円	57件	14件	1,378,000円			
● 第10回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)						合計	30件	3,000,000円
月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	累計	226件	26,711,313円
25.10.24	スポーツ	100万円	18件	13件	1,300,000円			
	文化	100万円	57件	17件	1,700,000円			
● 第9回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)						合計	25件	2,670,000円
月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	累計	196件	23,711,313円
24.8.27	スポーツ	100万円	24件	10件	970,000円			美作国建国1300年記念事業実行委員会 30万円
	文化	100万円	56件	14件	1,400,000円			
● 第8回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)						合計	21件	2,011,628円
月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	累計	171件	21,041,313円
23.7.12	スポーツ	100万円	25件	10件	986,000円			
	文化	100万円	46件	11件	1,025,628円			
● 第7回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)						合計	22件	2,977,020円
月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	累計	150件	19,029,685円
22.7.5	スポーツ	100万円	11件	8件	717,020円			第25回国民文化祭おかやま2010 100万円
	文化	100万円	43件	13件	1,260,000円			
● 第6回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)						合計	25件	3,258,115円
月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	累計	128件	16,052,665円
21.7.27	スポーツ	100万円	19件	10件	959,115円			第25回国民文化祭おかやま2010 100万円
	文化	100万円	42件	14件	1,299,000円			
● 第5回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)						合計	21件	2,996,410円
月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	累計	103件	12,794,550円
20.7.29	スポーツ	100万円	34件	10件	996,410円			県立総社南高等学校ダンス部保護者会 100万円
	文化	100万円	45件	10件	1,000,000円			

## 事業の記録

### ●第4回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	
19.7.24	スポーツ	100万円	31件	10件	964,500円	合計 21件 1,994,500円 累計 82件 9,798,140円
	文化	100万円	53件	11件	1,030,000円	

### ●第3回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	
18.7.21	スポーツ	100万円	36件	10件	970,000円	合計 20件 1,962,000円 累計 61件 7,803,640円
	文化	100万円	27件	10件	992,000円	

### ●第2回交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	
17.8.3	スポーツ	100万円	34件	10件	988,640円	晴れの国おかやま国体 100万円 合計 21件 2,988,640円 累計 41件 5,841,640円
	文化	100万円	24件	10件	1,000,000円	

### ●第1回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	
16.12.14	スポーツ	100万円	31件	10件	1,000,000円	晴れの国おかやま国体 100万円 合計 20件 2,853,000円
	文化	100万円	15件	9件	853,000円	

## 2 表彰の記録

### ●第14回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
29.8.28	スポーツ	特別賞	佐藤 友祈	陸上競技 競走(車いす)
		賞	岡田 直也	射的 ライフル射撃
			倉敷高等学校陸上競技部	陸上競技 駅伝
	文化	大賞	第71回国民体育大会弓道競技成年男子岡山県選抜	射的 弓道
			森定 照広	陸上競技 指導者
		賞	難波 滋	美術 洋画
	賞	森 陶岳	美術 陶芸(備前焼)	
		吉備神楽社	無形民俗文化財 伝統芸能	
	賞	木村 善明	音楽 声楽(バス・バリトン)	

### ●第13回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
28.11.4	スポーツ	賞	梅木 真美	格闘技 柔道
			関西高等学校体操競技部	体操 体操競技
		齋藤 愛美	陸上競技 競走	
	文化	大賞	佐藤 友祈	車いす陸上競技 競走(T52クラス)
			高木 聖雨	美術 書道
		特別賞	島村 光	美術 陶芸(備前焼)
賞	森山 知己	美術 日本画		
	小倉 綾乃	音楽 リード楽器(ハーモニカ)		
賞	玉置 里美	美術 日本画		
賞	寺坂 昌三	美術 書道		

### ●第12回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
27.8.26	スポーツ	賞	荒島 夕理	陸上競技
			井上 全悠	卓球競技
			原田 裕成	自転車競技
			日本 雄也	水泳競技
			丸本 大翔	ウェイトリフティング競技
			大賞	隠崎 隆一
	文化	賞	粟利郷太刀踊保存会	無形民俗文化財 伝統芸能
			小野 耕石	美術 版画
			河本 昭政	美術 洋画
			藤本 理恵子	美術 日本画
			森上 光月	美術 書道
			守屋 剛志	音楽 ヴァイオリン

### ●第11回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
26.8.7	スポーツ	賞	小川 晃平	体操競技 新体操
			IPU環太平洋大学女子柔道部	柔道競技
			吉備国際大学女子サッカー部	サッカー競技
	文化	特別賞	佐々木 美行	スケート競技フィギュアの指導
			野上 竜太	自転車競技
			賞	佐々木 英代
			小出 公大	郷土史
			須本 雅子	美術 染織
			藤原 洋次郎	美術 現代アート
			横仙歌舞伎保存会	無形民俗文化財 伝統芸能

### ●第10回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別	
25.10.24	スポーツ	大賞	荒木 絵里香	バレーボール競技	
			福元 美穂	サッカー競技	
			宮間 あや	サッカー競技	
	文化	賞	清水 聡	ボクシング競技	
			山口 舞	バレーボール競技	
			大賞	水戸岡 鋭治	美術デザイン
			特別賞	佐藤 常子	美術 染織
			賞	上田 久利	美術 彫刻
			岡山パッパカンタータ協会	音楽 合唱	
			草間 喆雄	美術テキスタイル	
			鴻八幡宮祭りばやし保存会	無形民俗文化財 伝統芸能	
			難波 由城雄	美術 写真	

### ●第9回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
24.8.27	スポーツ	特別賞	福元 美穂	サッカー競技
			宮間 あや	サッカー競技
		賞	奥村 諭志	自転車競技
	文化	特別賞	勝又 雅弘	陸上競技の振興
			田中 太郎	ウェイトリフティング競技
		賞	小谷 眞三	美術 工芸
			森川 星葉	美術 書道
			池上 わかな	美術 洋画
			作元 朋子	美術 陶芸
			榎木 和敬	音楽 声楽
			桃太郎少年合唱団	音楽 合唱

# 事業の記録

## ●第8回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
23.7.21	スポーツ	大賞	該当者なし	
		賞	小野 陽平 川口 敬二 興譲館高等学校陸上競技部	テニス競技 自転車競技の指導
			永木 伸児 中野 真奈美 藤田 健児	陸上競技 空手道競技 サッカー競技 ボクシング競技
	文化	大賞	重松 清	文芸 小説
		賞	澤田 虚遊 宮内踊保存会	美術 書道 無形民俗文化財 伝統芸能
	特別賞		天満屋女子陸上競技部	陸上競技

## ●第7回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
22.7.5	スポーツ	栄誉大賞	高橋 大輔	スケート競技 フィギュア
		大賞	新田 佳浩	スキー競技 クロスカンントリー
			井上 正 県立玉野光南高等学校陸上競技部 皇后杯第28回全国都道府県対抗女子駅伝 岡山県チーム	新体操競技の指導 陸上競技 陸上競技
	文化	大賞	井手 康人	美術 日本画
		賞	高田神社横野獅子舞保存会 諸星 美喜	無形民俗文化財 伝統芸能 美術 日本画

## ●第6回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
21.7.27	スポーツ	大賞	該当者なし	
		賞	岡山県作陽高等学校ゴルフ部	ゴルフ競技
			木村 禎宏 山陽女子高等学校 体操部 平林金属男子ソフトボールクラブ	車いすテニス競技 体操競技 ソフトボール競技
	文化	大賞	高原 洋一	美術 洋画 版画
		賞	大島の牽踊り保存会 片山 康之	無形民俗文化財 伝統芸能 美術 彫刻

## ●第5回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
20.7.29	スポーツ	大賞	天満屋女子陸上競技部	陸上競技
		賞	県立新見高等学校ソフトボール部 県立新見高等学校軟式野球部	ソフトボール競技 軟式野球競技
			福元 美穂 宮間 あや	サッカー競技 GK サッカー競技 MF
	文化	大賞	該当者なし	
		賞	井手 康人 小川 尊一 神代郷土民謡保存会 津山市立北陵中学校吹奏楽部 明誠学院高等学校書道部	美術 日本画 美術 洋画 無形民俗文化財 伝統芸能 音楽 吹奏楽 美術 書道

## ●第4回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
19.7.24	スポーツ	大賞	該当者なし	
		賞	麻生 薫 岡山県作陽高等学校サッカー部	ハンドボール競技の指導 サッカー競技
			岡山湯郷Belle 長田 京大 牧野 吉伸	サッカー競技 新体操競技の指導 ウエイトリフティング競技の指導
	文化	大賞	山口 松太	工芸 漆芸
		賞	多胡 昭彦 田丸 稔 宮尾 昌宏	天文学 美術 彫刻 工芸 陶芸

## ●第3回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
18.7.21	スポーツ	大賞	高橋 大輔	スケート競技フィギュア
		賞	榑村 正明 古川 興幸 森政 芳寿	ソフトテニス競技の指導 レスリング競技の指導 陸上競技の指導
			大賞	あさの あつこ
	文化	賞	川島 基 難波 滋 福石神楽団	音楽 ピアノ 美術 洋画 無形民俗文化財 伝統芸能
		特別賞	岡山県剣道連盟 岡山県山岳連盟 岡山シーガルズ 関西高等学校ボート部	剣道競技 山岳競技 バレーボール競技 ボート競技

## ●第2回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
17.8.3	スポーツ	大賞	水鳥 寿思	体操競技
		賞	石本 直樹 諸見里 しのぶ 横山 純子	ベンチプレス競技 ゴルフ競技 陸上競技の指導
			大賞	小川 洋子
	文化	賞	石田 宗之 はやし田植え保存会 濱坂 渉	美術 洋画 無形民俗文化財 伝統芸能 美術 彫刻

## ●第1回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
16.12.14	スポーツ	大賞	武富 豊	陸上競技の指導
		賞	土井 美智江 藤原 佳市 柳井 清志	水泳競技(マスターズ) 体操競技の指導 ソフトボール競技の指導
			大賞	高橋 秀
	文化	賞	粟井春日歌舞伎保存会 岡山フィルハーモニック管弦楽団 松本 和将	無形民俗文化財 伝統芸能 音楽 管弦楽 音楽 ピアノ

# 事業の記録

## 3 イベントの記録 (協賛を含む)

年度	区分	イベント名	実施日	応募数	決定数	金額	
29	スポーツ	マルセンスポーツ教室「岡山シーガルのバレーボール教室」 後援 岡山市 講師 川畑愛希選手 檜崎慈恵選手 神田千絵コーチ (万成病院体育館 (Mホール))	29.8.6	30	26	107千円	
		チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ (東児が丘マリンヒルズ GC)	29.9.15 ~ 29.9.17	315	200組 400名	現物寄贈	
		協賛 第27回全日本古希軟式野球大会岡山大会 (岡山県選抜軟式野球連盟 倉敷市運動公園他7会場)	29.10.28 ~ 29.10.31	—	—	100千円	
		第36回山陽女子ロードレース大会 (山陽新聞社他 岡山市内)	29.12.23	—	—	1,080千円	
		岡山県文化連盟「おかやま文化芸術アソシエイツ」(共催) (旧文化のつどい) 文化芸術交流実証室(奈義町伝統文化等研修施設)	30.1.8	—	35	100千円	
	文化	マルセン文化教室「井手康人の日本画教室」 ・社会人対象 (作品展示 倉敷市立美術館「春の院展会場」) ・中高生対象 (作品展示 天満屋岡山店葦川会館「院展会場」) 後援 岡山県教育委員会 岡山市教育委員会 日本美術院「地域連携教育プログラム」 講師 井手康人(同人) 藤田和美(院友) beyond2020 認証事業 (岡山県生涯学習センター美術教室)	(社会人) 29.6.11 (中高生) 29.12.24	—	(社会人) 23 (中高生) 27	199千円	
		マルセン文化教室「白井洋輔氏とともに関谷学校と津田永忠の事跡を巡る研修会」 講師 白井洋輔(備前ミュージアム館長) (和意谷池田家墓所 鏡の州 関谷学校 原井堰 石の懸樋 等)	29.10.28	38	30	172千円	
		チケットプレゼント 第72回春の院展倉敷展(倉敷市立美術館)	29.6.28 ~ 29.7.9	30	30	18千円	
		川島基ピアノリサイタル(岡山県立美術館ホール)	29.9.9	10	10	30千円	
		再興第102回院展岡山展(天満屋岡山店葦川会館)	30.1.2 ~ 30.1.14	222	150	90千円	
		備中温羅太鼓(総社市民会館)	30.2.8	59	10	25千円	
		第32回倉敷音楽祭「倉敷のヴィルトゥオーゾ Vol.3」 ～倉敷ゆかりの若手プレーヤーによる室内楽コンサート～ (倉敷芸文館)	30.3.18	120	30	54千円	
		協賛 日本工芸会中国支部創立60周年記念図録 (日本工芸会中国支部 天満屋岡山店 県立美術館)	29.5.24 ~ 29.6.25	—	—	300千円	
		備前細工物「きのう・きょう・あした」 (備前細工物展実行委員会 備前ミュージアム)	29.6.29 ~ 29.9.3	—	—	300千円	
		岡山女声合唱団「華」 日本のうた・こころのうた 20年のあゆみ記念コンサート (岡山女声合唱団「華」 岡山シンフォニーホール)	29.10.1	—	—	150千円	
		岡山市民ミュージカル「オランダお伊ねあじさい物語」 (山陽放送岡山シンフォニーホール)	29.11.19	—	—	100千円	
		第9回全国高校生現代アートビエンナーレ～絵画・イラスト～ (倉敷芸術科学大学 倉敷市立美術館)	29.12.16 ~ 29.12.24	—	—	100千円	
		共通	RSKラジオ「おかやま元気応援団! 2017」(㈱成通提供) 助成団体活動状況報告 20団体	29.10.16 ~ 29.11.8	—	—	—
		スポーツ	マルセンソフトテニス教室 主管 岡山県高等学校体育連盟ソフトテニス専門部 後援 岡山県ソフトテニス連盟 講師 大庭彩加(山陽新聞倉敷支社) 杉本 瞳(職員) 深澤昭恵・森原可奈(東芝姫路所属) (岡山県総合グラウンド内 南テニスコート)	28.6.18 28.6.26	—	18日 4校 33名 26日 5校 35名	265千円
			チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ(東児が丘マリンヒルズ GC)	28.9.16 ~ 18	410	200組 400名	現物寄贈
協賛 第2回岡山県武道フェスタ (岡山県武道団体連合会 岡山武道館他)	28.12.4		—	—	200千円		
第35回山陽女子ロードレース大会 (岡山県体育協会 山陽新聞社他 岡山市内)	28.12.23		—	—	1,080千円		
日中友好卓球交流会 (瀬戸内日中友好卓球交流会 ねや卓球道場・坂出体育館)	29.3.26 ~ 29.4.1		—	—	100千円		
岡山県文化連盟・文化講演会(共催) 「文化のつどい」 「青木研岡山でスウィングする」4弦バンジョーの世界 (天神山文化プラザホール)	28.12.2		—	—	—		
マルセン文化教室「井手康人の日本画教室」 ・社会人対象 (作品展示 倉敷市立美術館「春の院展会場」) ・高校生対象 (作品展示 天満屋葦川開館「院展会場」) 後援 岡山県教育委員会 日本美術院「地域連携教育プログラム」 講師 井手康人(同人) 藤田和美(院友) (岡山県生涯学習センター美術教室)	28.6.3 28.12.23		—	(社会人) 24名 (高校生) 25名	297千円		
文化	チケットプレゼント 川島基ピアノリサイタル(ルネスホール)	28.5.1	79組 157名	20組 40名	120千円		
	チケットプレゼント 第71回春の院展倉敷展(倉敷市立美術館)	28.6.29 ~ 7.10	120名	30名	現物寄附		
	チケットプレゼント マイ・ハート in さん太(山陽新聞社さん太ホール)	28.8.24	203名	100名	現物寄附		
	チケットプレゼント 種まく旅人～夢のつぎ木～(ロケ地:赤磐市他 上映:県下6映画館)	28.10.22 ~	381組 761名	100組 200名	200千円		
	チケットプレゼント 再興第101回院展岡山会場50回記念展(天満屋葦川会館)	29.1.2 ~ 15	334名	100名	60千円		
	共通	RSKラジオ「おかやま元気応援団! 2017」(㈱成通提供) 助成団体活動状況報告 21団体	29.10.16 ~ 29.11.8	—	—	—	
	共通	マルセンソフトテニス教室 主管 岡山県高等学校体育連盟ソフトテニス専門部 後援 岡山県ソフトテニス連盟 講師 大庭彩加(山陽新聞倉敷支社) 杉本 瞳(職員) 深澤昭恵・森原可奈(東芝姫路所属) (岡山県総合グラウンド内 南テニスコート)	28.6.18 28.6.26	—	18日 4校 33名 26日 5校 35名	265千円	
	チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ(東児が丘マリンヒルズ GC)	28.9.16 ~ 18	410	200組 400名	現物寄贈		
	協賛 第2回岡山県武道フェスタ (岡山県武道団体連合会 岡山武道館他)	28.12.4	—	—	200千円		
	第35回山陽女子ロードレース大会 (岡山県体育協会 山陽新聞社他 岡山市内)	28.12.23	—	—	1,080千円		
日中友好卓球交流会 (瀬戸内日中友好卓球交流会 ねや卓球道場・坂出体育館)	29.3.26 ~ 29.4.1	—	—	100千円			
岡山県文化連盟・文化講演会(共催) 「文化のつどい」 「青木研岡山でスウィングする」4弦バンジョーの世界 (天神山文化プラザホール)	28.12.2	—	—	—			
マルセン文化教室「井手康人の日本画教室」 ・社会人対象 (作品展示 倉敷市立美術館「春の院展会場」) ・高校生対象 (作品展示 天満屋葦川開館「院展会場」) 後援 岡山県教育委員会 日本美術院「地域連携教育プログラム」 講師 井手康人(同人) 藤田和美(院友) (岡山県生涯学習センター美術教室)	28.6.3 28.12.23	—	(社会人) 24名 (高校生) 25名	297千円			
チケットプレゼント 川島基ピアノリサイタル(ルネスホール)	28.5.1	79組 157名	20組 40名	120千円			
チケットプレゼント 第71回春の院展倉敷展(倉敷市立美術館)	28.6.29 ~ 7.10	120名	30名	現物寄附			
チケットプレゼント マイ・ハート in さん太(山陽新聞社さん太ホール)	28.8.24	203名	100名	現物寄附			
チケットプレゼント 種まく旅人～夢のつぎ木～(ロケ地:赤磐市他 上映:県下6映画館)	28.10.22 ~	381組 761名	100組 200名	200千円			
チケットプレゼント 再興第101回院展岡山会場50回記念展(天満屋葦川会館)	29.1.2 ~ 15	334名	100名	60千円			

年度	区分	イベント名	実施日	応募数	決定数	金額	
28	文化	チケットプレゼント 第31回倉敷音楽祭 倉敷のヴィルトゥオーゾ Vol.2 室内楽コンサート (倉敷芸文館)	29.3.18	143名	30名	54千円	
		協賛 倉敷!「高校生コミック・イラストコンクール2016」 (倉敷芸術科学大学 倉敷市立美術館)	28.6.1 ~ 29.3.31	—	—	100千円	
		岡山県演奏家協会生誕50周年を祝して ～岡山と共に50年そして宙へ～ (岡山県演奏家協会 岡山シンフォニーホール)	28.10.10	—	—	300千円	
		岡山の美術特別企画「梅一輪 島村光 金重有邦 隠崎隆一展」 (岡山県立美術館)	29.2.1 ~ 29.3.12	—	—	300千円	
	共通	RSKラジオ「おかやま元気応援団! 2016」(㈱成通提供) 助成団体活動状況報告 21団体	28.11.14 ~ 12.27	—	—	—	
27	スポーツ	高体連ソフトテニス専門部強化事業に職員派遣 マルセン子どもスケート教室 共催 倉敷市スケート協会フィギュア部 後援 県教育委員会、倉敷市教育委員会、岡山県スケート連盟 ゲストスケーター-無良崇人選手(日本スケート特別強化選手(洋菓子のヒロタ所属)) (ヘルスピア倉敷アイスアリーナ)	27.8.10 ~ 11	—	—	—	
		プロバスケットボール試合(共催) 「高松ファイブアローズ対金沢武士団」 (ジップアリーナ岡山(岡山県立体育館))	27.8.17 ~ 18	—	17日 49名 18日 39名	—	
		チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ(東児が丘マリンヒルズ GC)	27.8.19	—	—	378千円	
		第34回山陽女子ロードレース大会(協賛) (岡山市内)	27.9.19 ~ 20	40	40	—	
		第34回山陽女子ロードレース大会(協賛) (岡山市内)	27.12.23	530	200組 400名	現物寄贈	
	文化	岡山県文化連盟・文化講演会(文化のつどい)(名義共催) 「アート、文学、おかやまー私を育んだ岡山の文化」 講師 原田マハ(作家)	27.9.17	—	—	—	
		フェルメール光の王国展(岡山市シティミュージアム)	27.4.14 ~ 5.6	307	40組 80名	—	
		倉敷!高校生コミック・イラストコンクール2015(協賛) 主催 倉敷芸術科学大学 (倉敷市倉敷公民館 1F 展示室)	27.6.1 ~ 27.8.31 27.12.2 ~ 6	416点 (168校)	—	入選52点 うち20点受賞 (大賞等)	100千円
		岡山カルチャーゾーン30周年記念事業(協賛) 「岡山カルチャーゾーンの魅力」 (岡山県立博物館及び後楽園を中心としたカルチャーゾーン一帯)	27.7.16 ~ 9.13	—	—	入館者数 6,779名	100千円
		岡山県文化連盟設立10周年記念×天神山文化プラザ開館10周年記念(協賛) 「オペラファンタジー「ヘルゼンとグレーテル」」 (岡山県天神山文化プラザホール)	27.10.31 27.11.1	—	—	参加者 1回 236名 2回 240名	—
共通	チケットプレゼント 再興第100回院展岡山展(天満屋岡山店 6階葦川会館)	28.1.2 ~ 1.17	458	100組 200名	現物寄贈		
	チケットプレゼント 倉敷のヴィルトゥオーゾ ピアノクインテット(倉敷市芸文館)	28.3.12	126	50組 100名	180千円		
	RSKラジオ「おかやま元気応援団! 2015」(㈱成通提供) 助成団体活動状況報告 21団体	27.9.28 ~ 12.14	—	—	—		
	第10回岡山中央スポーツ少年団ソフトボール交歓大会(協賛)	26.4.13	—	—	10千円		
	第30回全国選抜フットサル大会(協賛) (きびアリーナ)	26.9.13 ~ 15	—	—	100千円		
26	スポーツ	マルセンバスケットボール教室(共催) 主管 県中学生バスケット連盟 (倉敷市立東中学校体育館)	26.9.15	—	42	240千円	
		チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ(東児が丘マリンヒルズ GC)	26.9.20 ~ 21	278	190	現物寄贈	
		プロバスケットボール試合(共催) 「高松ファイブアローズ対大阪エヴェッサ」 (備前市総合運動公園体育館)	26.11.2	—	—	378千円	
		チケットプレゼント(同)	26.11.16	11	8	現物寄贈	
		第33回山陽女子ロードレース大会(協賛) (岡山市内)	26.11.16	—	—	1,080千円	
	文化	第10回沙美アートフェスト(協賛) (倉敷市沙美海岸 倉敷市立美術館)	26.5.10	—	—	100千円	
		チケットプレゼント 親子で学ぶてんまや水族館 「オーストラリアの海とグレートバリアリーフの世界」 (天満屋岡山店 6階葦川会館)	26.8.6 ~ 25	188	50組 100名	—	
		岡山県文化連盟・文化講演会「文化のつどい」(共催) 講演「音楽と私」講師 川島基氏(東京音楽大学ピアノ科専任講師) 聞き手 西田多江(フリーアナウンサー) (ルネスホール)	26.8.7	—	—	150千円	
		マルセン親子写真教室(主催) 講師 難波由城雄氏(第10回マルセン文化賞受賞者) (龍の森グリーンシャワーの森)	26.9.27	10組	10組 22名	88千円	
		池田綱政公300年遠征記念事業(協賛) 特別展 護国山曹源寺～岡山藩主池田氏菩提寺の至宝と文化～ (岡山県立博物館)	26.10.10 ~ 11.16	—	—	300千円	
倉敷!高校生コミック・イラストコンクール2014(協賛) 主催 倉敷芸術科学大学 (倉敷公民館)	26.11.26 ~ 30	—	—	100千円			
チケットプレゼント 岡山フィルハーモニック管弦楽団第46回定期演奏会 (岡山シンフォニーホール)	27.1.24	250通	20組 40名	190千円			

# 事業の記録

年度	区分	イベント名	実施日	応募数	決定数	金額
26	文化	倉敷ダニエル・オストの花と心 ー西洋と日本の架橋ー (名義協賛) (倉敷大原家本部/有隣荘 (旧別邸) 大原美術館工芸・東洋館中庭)	27.3.1 ~ 4	—	—	名義
		チケットプレゼント 同上		575 通	100名	現物寄贈
共通	文化	トーベ・ヤンソン生誕100年記念「ムーミン展」 (岡山県立美術館)	27.3.20 ~ 4.19	779 通	150組 300名	現物寄贈
		RSK ラジオ「おかやま元気応援団! 2014」(株)成通提供 助成団体活動状況報告 22 団体	26.9.3 ~ 11.19	—	—	—
25	スポーツ	厚生労働大臣杯争奪第63回全日本実業柔道団体対抗大会 (協賛) (岡山県体育館 桃太郎アリーナ)	25.6.15 ~ 16	—	—	100 千円
		第36回岡山県道場少年剣道大会 (後援) (倉敷市玉島の森体育館)	25.6.22	—	—	名義
		チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ (東児が丘マリンヒルズ GC)	25.9.21 ~ 22	258 通	145名	現物寄贈
		チケットプレゼント プロバスケットボール試合 (共催) 「高松ファイブアローズ対島根スサノオマジック」 (備前市総合運動公園体育館)	25.10.27	43 通	20名	350 千円
		「第32回山陽女子ロードレース大会」(協賛) (岡山市内)	25.12.23	—	—	1,050 千円
		成通グループ・(公財) マルセンスポーツ・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室 (マスカットスタジアム)	26.3.2	—	96名	—
		チケットプレゼント 東北楽天ゴールデンイーグルス主催プロ野球オープン戦 (マスカットスタジアム)	26.3.4 / 3.5 / 3.7 / 3.8 / 3.9	1,203 通	50名	現物寄贈
		「第9回沙美アートフェスタ」(協賛) (倉敷市沙美海岸)	25.5.11	—	—	100 千円
		チケットプレゼント 大野雄二&ルパンティック・ファイブルパンティック・ジャズナイト (岡山シンフォニーホール)	25.5.17	265 通	25組 50名	175 千円
		The Wave Quartet マリimba・リサイタル/マスタークラス (協賛) (公社) 岡山県文化連盟・文化講演会「文化のつどい」(共催) 講演「美作国建国1300年〜津山洋学・知は海より来る〜」白井洋輔氏 (元 吉備国際大学教授) (天神山文化プラザホール) 講演「日本から始まった柔道文化」古賀稔彦氏 (環太平洋大学教授 (柔道家・ 医学博士)) (天神山文化プラザホール)	25.7.17	—	—	100 千円
25	文化	創立10周年記念「表彰者色紙展/自然と遊ぶ・写真展」(主催) 第1回〜第9回までのスポーツ・文化大賞等の揮毫色紙及び朝明監事の 写真展示 (天神山文化プラザ)	25.7.20 / 9.19	—	—	390 千円
		書籍プレゼント 「卑弥呼は近江か出雲か吉備か」	25.8.13 ~ 8.18	—	—	883 千円
		倉魂! 高校生コミック・イラストコンクール 2013 (協賛) (天満屋倉敷店 6階)	~ 26.2.8	179 通	28名	現物寄贈
		如月 水墨画展 (後援) (さん太ギャラリー)	25.10.6 ~ 7	—	—	100 千円
		書籍プレゼント みんなで学ぶ「ふるさとと美作のあゆみ」	25.10.1 ~ 10	—	—	名義
		チケットプレゼント 「レオナルド・ブジタとパリ 1913-1931」展 (岡山県立美術館)	~ 26.2.8	71 通	10名	15 千円
		「レオナルド・ブジタとパリ 1913-1931」展 (岡山県立美術館)	26.2.21 ~ 4.6	336 通	150組 300名	現物寄贈
		RSK ラジオ「おかやま元気応援団! 2013」(株)成通提供 助成団体活動状況報告 28 団体	25.10.28 ~ 12.17	—	—	—
		チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ (東児が丘マリンヒルズ GC)	25.10.28 ~ 12.17	—	—	—
		24	スポーツ	第2回航空フェア2012 (協賛) フライトシミュレーターによる少年航空教室 (岡山県岡南飛行場)	24.9.15 ~ 16	153 通
成通グループ・(財)マルセンスポーツ・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室 (マスカットスタジアム)	24.11.11			106	106名	420 千円
「第31回山陽女子ロードレース大会」(協賛) (岡山市内)	24.11.11			29 チーム	200名	—
「第31回山陽女子ロードレース大会」(協賛) (岡山市内)	24.12.23			—	—	1,050 千円
チケットプレゼント 女子バレーボール V・プレミアリーグ戦 (笠岡体育館・桃太郎アリーナ)	25.2.9・10 3.2・3			532	80名	280 千円
第61回備前市えびす駅伝競走大会 (協賛)	25.2.11			—	—	50 千円
成通グループ・(財)マルセンスポーツ・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室 (マスカットスタジアム)	24.11.11			4 チーム	95名	—
「第8回沙美アートフェスタ」(協賛) (倉敷市沙美海岸 展覧会 倉敷市立美術館)	24.12.23			—	—	1,050 千円
「第8回沙美アートフェスタ」(協賛) (倉敷市沙美海岸 展覧会 倉敷市立美術館)	25.5.12			50 点	50	100 千円
24	文化			マルク・シャガール展 -愛をめぐる追想- (岡山県立美術館)	24.7.13 ~ 8.26	479 通
		前橋汀子ヴァイオリンリサイタル (岡山シンフォニーホール)	24.10.5	275 通	50名	175 千円
		倉魂! 高校生コミック・イラストコンクール 2012 (協賛) (加計美術館)	24.10.6 ~ 28	300 点	100点	100 千円
		「第5回沙美アートフェスタ」(協賛) (沙美海岸 展覧会 倉敷市立美術館)	24.10.6 ~ 28	300 点	100点	100 千円
		「第5回沙美アートフェスタ」(協賛) (沙美海岸 展覧会 倉敷市立美術館)	24.10.6 ~ 28	300 点	100点	100 千円
		「第5回沙美アートフェスタ」(協賛) (沙美海岸 展覧会 倉敷市立美術館)	24.10.6 ~ 28	300 点	100点	100 千円
		「第5回沙美アートフェスタ」(協賛) (沙美海岸 展覧会 倉敷市立美術館)	24.10.6 ~ 28	300 点	100点	100 千円
		「第5回沙美アートフェスタ」(協賛) (沙美海岸 展覧会 倉敷市立美術館)	24.10.6 ~ 28	300 点	100点	100 千円
		「第5回沙美アートフェスタ」(協賛) (沙美海岸 展覧会 倉敷市立美術館)	24.10.6 ~ 28	300 点	100点	100 千円
		「第5回沙美アートフェスタ」(協賛) (沙美海岸 展覧会 倉敷市立美術館)	24.10.6 ~ 28	300 点	100点	100 千円

年度	区分	イベント名	実施日	応募数	決定数	金額
24	文化	岡山県文化連盟・文化講演会「文化のつどい」(助成) 「福祉と文化」講師 江草安彦氏 (旭川荘) 演奏/桃太郎少年合唱団 (ルネスホール)	24.10.6 24.11.17	—	—	300 千円
		「本物の心に残る音楽を」講師 守屋剛志 (ヴァイオリニスト) 演奏/ピアノ /中山恵氏 (天神山文化プラザ)		—	—	—
24	文化	マーチング・イン・オカヤマ (協賛) (岡山駅前・さん太広場・表町商店街・石山公園・岡山市総合文化体育館)	24.10.7 ~ 8	—	—	40 千円
		人形浄瑠璃「文楽」(倉敷芸文館) 美作国建国1300年記念事業 (協賛)	25.3.9 昼・夜の部 25.3.22	174 通	20名	80 千円 現物寄附
24	スポーツ	「第30回山陽女子ロードレース大会」(協賛) (岡山市内)	23.12.23	—	—	1,050 千円
		成通グループ・(財)マルセンスポーツ・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室 (倉敷マスカット球場)	24.3.4	—	88名	—
		チケットプレゼント プロ野球オープン戦 (倉敷マスカット球場)	24.3.10	305	46	—
		「第7回沙美アートフェスタ」(協賛) (倉敷市沙美海岸 展覧会 倉敷市立美術館)	24.3.11	581	46	—
23	文化	岡山県文化連盟・文化講演会「文化のつどい」(助成) 「伝統文化を学びなおす-和魂ルネサンス」 講師 梶田毅一氏 (環太平洋大学長) (ルネスホール)	23.5.14	—	—	100 千円
		「表現と未来」 講師 坂手洋二氏 (劇作家・演出家) (天神山文化プラザホール)	23.8.22, 8.24	—	—	300 千円
		マーチング・イン岡山 (協賛) (岡山駅前・さん太広場他)	H23.10.9 ~ 10	—	—	40 千円
		「川島基&松本和将スーパーピアノデュオリサイタル」 (岡山シンフォニーホール)	23.11.3	2,326	1,700名	2,178 千円
23	文化	岡山県民俗芸能大会 (協賛) (奈義町文化ホール)	23.11.19 ~ 20	—	—	100 千円
		「男子第49回女子第40回 西日本学生ハンドボール選手権大会」(協賛) (桃太郎アリーナ・岡山総合グラウンド体育館)	23.11.19 ~ 20	—	—	100 千円
		マルセン小学生ソフトボール教室の開催 (岡山ドーム)	23.11.19 ~ 20	—	—	100 千円
		「第29回山陽女子ロードレース」(協賛) (岡山市内)	23.11.19 ~ 20	—	—	100 千円
23	スポーツ	「男子第49回女子第40回 西日本学生ハンドボール選手権大会」(協賛) (桃太郎アリーナ・岡山総合グラウンド体育館)	22.7.10 ~ 14	—	—	20 千円
		マルセン小学生ソフトボール教室の開催 (岡山ドーム)	22.7.10 ~ 14	—	—	20 千円
		「第29回山陽女子ロードレース」(協賛) (岡山市内)	22.8.5	—	92名	288 千円
		「第29回山陽女子ロードレース」(協賛) (岡山市内)	22.12.23	—	—	1,050 千円
22	文化	「第29回山陽女子ロードレース」(協賛) (岡山市内)	23.3.13	410	100名	250 千円
		「第6回沙美アートフェスタ」(協賛) (沙美海岸 展覧会 倉敷市立美術館)	23.3.13	410	100名	250 千円
		「第6回沙美アートフェスタ」(協賛) (沙美海岸 展覧会 倉敷市立美術館)	22.5.15	—	—	100 千円
		岡山県文化連盟・文化講演会「文化のつどい」(助成) 「音楽と私」ピアニスト 松本 和将氏 「音楽と私」メソソプラノ 伊藤 宏恵氏 「彫刻の見方」彫刻家 蛭田 二郎氏	22.8.25, 8.28, 9.1	—	—	470 千円
22	文化	チケットプレゼント 「川島 基ピアノリサイタル」 (さん太ホール)	22.9.26	—	30名	105 千円
		チケットプレゼント 特別展「モネとジヴェルニーの画家たち」 チケットプレゼント (成通グループ提供) アンデルセン・ミュージカル「ハンスの冒険」 (倉敷公民館・さん太ホール)	23.2.25 ~ 4.10	527	300名	45 千円
		「第28回全国ママさんバスケットボール交歓大会岡山大会」(協賛) (桃太郎アリーナ・岡山市総合文化体育館)	23.3.19・20・22・23	35	40名	—
		「第28回全国ママさんバスケットボール交歓大会岡山大会」(協賛) (桃太郎アリーナ・岡山市総合文化体育館)	23.3.19・20・22・23	35	40名	—
22	スポーツ	「第28回全国ママさんバスケットボール交歓大会岡山大会」(協賛) (桃太郎アリーナ・岡山市総合文化体育館)	21.8.7 ~ 9	—	—	20 千円
		「第2回倉敷国際少年野球大会」(協賛) (倉敷マスカット球場他)	21.8.22 ~ 23	—	—	100 千円
		「第57回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会」(協賛) (桃太郎スタジアム)	21.9.25 ~ 27	—	—	100 千円
		「マルセン少年バレーボール教室」 (山陽ふれあい公園体育館)	21.10.18	—	85名	370 千円
21	文化	「第28回山陽女子ロードレース」(協賛) (岡山市内)	21.12.23	—	—	1,050 千円
		「第5回沙美アートフェスタ」(協賛) (沙美海岸 展覧会 倉敷市立美術館)	21.5.16	—	—	100 千円
		「朝鮮王朝の絵画と日本」 (岡山県立美術館)	21.6.5 ~ 7.12	187 通	200名	166 千円
		「絵はがき (写真コンテスト入賞作品)」 「スポーツ・文化の振興」論文募集・入賞者表彰式	21.7.25 ~ 29 募集 21.9.1 ~ 10.31 募集	206 通 25 点	150名 7 点	152 千円 254 千円
21	文化	岡山県文化連盟・文化講演会「文化のつどい」(助成) 「モネと日本-睡蓮がつなく世界」高階秀爾大原美術館長 「古筆の魅力」島谷弘幸東京国立博物館学芸研究部長	21.9.5 / 9.12	—	—	350 千円
		「2009 マーチング・イン・オカヤマ」(協賛)	21.10.11 ~ 12	—	—	100 千円
		(株)NHK文化センター 「アンデルセン in ホテルオークラ岡山」(協賛)	22.2.21	—	—	50 千円
		「悠久への回帰 高橋秀展」 (岡山県立美術館)	22.3.5 ~ 4.4	178	100名	84 千円

事業の記録

平成29年度 収支計算書(損益計算ベース) (平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

年度	区分	イベント名	実施日	応募数	決定数	金額
20	スポーツ	「第31回岡山県少年剣道練成大会」(協賛) (倉敷市水島緑地福田公園体育館)	20.6.7	—	—	100千円
		「第1回倉敷国際少年野球大会」(協賛) (倉敷マスカット球場他)	20.8.23~24	—	—	100千円
		「第27回山陽女子ロードレース大会」(協賛) (岡山市内)	20.12.23	—	—	1,050千円
		「マルセン少年陸上競技教室」開催 講師 山口衛里(天満屋女子陸上部コーチ) (県陸上競技場・補助グラウンド)	21.3.8	—	255名	320千円
		「第24回全国高等学校新体操選抜大会」(協賛) (桃太郎アリーナ)	21.3.26~28	—	—	100千円
	文化	「第25回全国高等学校体操選抜大会」(協賛) (桃太郎アリーナ)	21.3.28~29	—	—	100千円
		「第4回沙美アートフェスト」(協賛) (沙美小学校体育館)	20.5.10	—	—	100千円
		チケットプレゼント 「おかやま国際音楽祭2008」(成通グループ提供) (岡山城天守閣前広場)	20.10.4	444通	100名	—
		「岡山学びフェスタ2008」「マルセンバレーンアート教室」開催 (岡山県生涯学習センター)	20.11.9	—	220名	74千円
		「おかやま子ども民俗芸能大会」(協賛) (倉敷芸文館)	20.11.8	—	—	100千円
19	スポーツ	岡山県文化連盟「文化講演会」(協賛) 講演 熊倉功夫 伊勢崎 淳	20.11.30 / 12.21	—	—	350千円
		「マルセン写真コンテスト及び写真展」開催 (天満屋岡山店地下タウン)	21.2.25~3.2	270点	36点	300千円
		「第30回岡山県少年剣道練成大会」(協賛) (倉敷市水島緑地福田公園体育館)	19.6.9	—	—	100千円
		「第26回山陽女子ロードレース大会」(協賛)	19.12.23	—	—	1,050千円
		「第56回備前市えびす駅伝競走大会」(協賛)	20.2.11	—	—	100千円
	文化	「マルセン少年サッカー教室」開催 ～湯郷 Belle の選手を招いて～ (岡山ドーム)	20.3.8	—	207名	430千円
		「第3回沙美アートフェスト」(協賛) (沙美海岸 倉敷市立美術館)	19.5.12	—	—	100千円
		くらしきウィーク 2007 in Kansas City (協賛) 岡山県文化連盟「文化講演会」(協賛) 「書道」「美術」「シンポジウム」	19.7.25~8.1	—	—	100千円
		19.9.9・15・23	—	—	350千円	
		第19回全国生涯学習フェスティバル 「まなびピア岡山2007」「生涯学習見本市」へ出展(桃太郎アリーナ) 「受賞者の写真・高橋大輔選手のコスチューム」等展示	19.11.2~6	—	—	480千円
18	スポーツ	県総合グラウンド入場者 17万2千人	—	—	—	—
		「第25回山陽女子ロードレース大会」(協賛)	18.12.23	—	—	1,050千円
		「第55回備前市えびす駅伝競走大会」(協賛)	19.2.11	—	—	100千円
		「ポスト国体・フラワーロード事業」(協賛)	—	—	—	100千円
		「第2回沙美アートフェスト」(協賛) (沙美小学校体育館 倉敷市立美術館)	18.5.13	—	—	100千円
	文化	「川島 基ピアノリサイタル」開催 (岡山県立美術館ホール)	18.11.3	431通	200名	400千円
		コミュニティライブラリーの開設 「晴れの国おかやま国体写真展 ああ感動をもう一度!」 表彰者紹介コーナー・映像コーナー設置(岡山会館1階)	18.8.4~19.2.16	—	—	—
		岡山桃太郎アリーナ落成記念 「オリンピックメダリスト体操競技演技会」(協賛)	17.6.5	—	—	210千円
		「第24回山陽女子ロードレース大会」(協賛)	17.12.23	—	—	1,050千円
		「第54回備前市えびす駅伝競走大会」(協賛)	18.2.11	—	—	100千円
17	スポーツ	チケットプレゼント 松本和将「ベートーヴェン3大協奏曲のタペ」 (岡山シンフォニーホール)	17.4.30	—	100名	300千円
		チケットプレゼント 岡山デジタルミュージアム開館記念「新シルクロード展」	17.10.21~12.18	452件	100名	90千円
		「あそべる!おもちゃ展」(協賛) (岡山デジタルミュージアム)	18.2.17~22	—	—	100千円
		「第23回山陽女子ロードレース大会」(協賛)	16.12.23	—	—	1,050千円
		チケットプレゼント 岡山フィルハーモニック管弦楽団第26回定期演奏会 (岡山シンフォニーホール)	17.3.11	710件	100名	360千円
	文化	「第23回山陽女子ロードレース大会」(協賛)	16.12.23	—	—	1,050千円
		チケットプレゼント 岡山フィルハーモニック管弦楽団第26回定期演奏会 (岡山シンフォニーホール)	17.3.11	710件	100名	360千円
		「第23回山陽女子ロードレース大会」(協賛)	16.12.23	—	—	1,050千円
		チケットプレゼント 岡山フィルハーモニック管弦楽団第26回定期演奏会 (岡山シンフォニーホール)	17.3.11	710件	100名	360千円
		「第23回山陽女子ロードレース大会」(協賛)	16.12.23	—	—	1,050千円

(単位:円)

科目	平成29年度予算			平成29年度決算			増減
	公益目的事業	管理事業	金額	公益目的事業	管理事業	金額	
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益	25,000	0	25,000	10,000		10,000	△15,000
定期預金利息	25,000	0	25,000	10,000		10,000	△15,000
受取寄付金	19,400,000	2,600,000	22,000,000	19,400,000	2,600,000	22,000,000	0
受取利息	65	0	65	65	0	65	0
雑収入	7,560	840	8,400	7,560	840	8,400	0
雑収益	7,625	840	8,465	7,625	840	8,465	0
経常収益計	19,432,625	2,600,840	22,033,465	19,417,625	2,600,840	22,018,465	△15,000
(2) 経常費用							
事業費	19,330,000		19,330,000	19,369,174		19,369,174	△39,174
役員報酬	0		0	0		0	0
給料手当	3,785,000		3,785,000	3,784,500		3,784,500	500
法定福利費	673,000		673,000	672,718		672,718	282
福利厚生費	13,000		13,000	12,105		12,105	895
広告宣伝費	0		0	0		0	0
荷造運賃	229,000		229,000	274,004		274,004	△45,004
賃借料	537,000		537,000	536,098		536,098	902
電力料	0		0	0		0	0
諸会費	0		0	0		0	0
交際接待費	56,000		56,000	55,505		55,505	495
旅費交通費	177,000		177,000	176,840		176,840	160
通信費	180,000		180,000	179,723		179,723	277
消耗品費	263,000		263,000	262,980		262,980	20
租税公課	0		0	0		0	0
減価償却費	0		0	0		0	0
地代・家賃	2,916,000		2,916,000	2,916,000		2,916,000	0
保険料	5,000		5,000	4,722		4,722	278
修繕費	0		0	0		0	0
助成金	2,000,000		2,000,000	2,000,000		2,000,000	0
褒賞金	4,100,000		4,100,000	4,100,000		4,100,000	0
諸謝金(イベント事業費)	317,000		317,000	317,000		317,000	0
資料収集費(広報啓発事業費)	15,000		15,000	14,116		14,116	884
印刷費	694,000		694,000	693,036		693,036	964
後援費	2,230,000		2,230,000	2,230,000		2,230,000	0
雑費	1,140,000		1,140,000	1,139,827		1,139,827	173
管理費		2,047,000	2,047,000		2,008,534	2,008,534	38,466
役員報酬		447,000	447,000		446,819	446,819	181
顧問報酬		12,000	12,000		0	0	0
給料手当		421,000	421,000		420,500	420,500	500
法定福利費		82,000	82,000		74,747	74,747	7,253
福利厚生費		2,000	2,000		1,345	1,345	655
退職慰労金		150,000	150,000		150,000	150,000	0
広告宣伝費		0	0		0	0	0
荷造運賃		3,000	3,000		2,296	2,296	704
事業引当金		0	0		0	0	0
賃借料		11,000	11,000		8,518	8,518	2,482
諸会費		20,000	20,000		20,000	20,000	0
交際接待費		127,000	127,000		122,632	122,632	4,368
旅費交通費		22,000	22,000		21,328	21,328	672
通信費		41,000	41,000		40,147	40,147	853
消耗品費		2,000	2,000		0	0	2,000
租税公課		3,000	3,000		1,180	1,180	1,820
減価償却費		0	0		0	0	0
地代・家賃		324,000	324,000		324,000	324,000	0
修繕費		0	0		0	0	0
諸謝金		0	0		0	0	0
印刷費		0	0		0	0	0
雑費		380,000	380,000		375,022	375,022	4,978
経常費用計	19,330,000	2,047,000	21,377,000	19,369,174	2,008,534	21,377,708	△708
当期経常増減額	102,625	553,840	656,465	48,451	592,306	640,757	
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
(2) 経常外費用							
当期経常外増減額							
当期一般正味財産増減額	102,625	553,840	656,465	48,451	592,306	640,757	
一般正味財産期首残高	△111,556	882,850	771,294	△111,556	882,850	771,294	
一般正味財産期末残高	△8,931	1,436,690	1,427,759	△63,105	1,475,156	1,412,051	
II 指定正味財産増減の部							
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	
指定正味財産期首残額	100,000,000	0	100,000,000	100,000,000	0	100,000,000	
指定正味財産期末残額	100,000,000	0	100,000,000	100,000,000	0	100,000,000	
III 正味財産期末残高	99,991,069	1,436,690	101,427,759	99,936,895	1,475,156	101,412,051	

## 貸借対照表 (平成30年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金預金	2,464,799	1,761,252	703,547
前払金	0	0	0
貯蔵品	4,224	3,196	1,028
未収金	112,964	137,017	△ 24,053
仮払金	0	0	0
前払費用	105,078	27,000	78,078
未収消費税	0	0	0
立替金	0	0	0
流動資産合計	2,687,065	1,928,465	758,600
2 固定資産			
(1)基本財産			
基本財産	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(2)特定資産			
特定預金	0	0	0
特定資産合計	0	0	0
(3)その他固定資産			
ソフトウェア	0	0	0
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	100,000,000	100,000,000	0
資産合計	102,687,065	101,928,465	758,600
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
未払金	1,255,874	1,209,338	46,536
預り金	19,140	△ 52,167	71,307
未払消費税等	0	0	0
未払法人税及び住民税	0	0	0
流動負債合計	1,275,014	1,157,171	117,843
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	1,275,014	1,157,171	117,843
<b>III 正味財産の部</b>			
1 指定正味財産			
寄付金	100,000,000	100,000,000	0
指定正味財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	100,000,000	100,000,000	0
2 一般正味財産			
一般正味財産合計	1,412,051	771,294	640,757
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	101,412,051	100,771,294	640,757
負債及び正味財産合計	102,687,065	101,928,465	758,600